



社団法人名古屋工業会会誌

ごきそ

2011 3-4 月号

【OBトップセミナー】

これからの社会で求められる人材
米国での研究開発を経て皆さんに伝えられること

【トピックス】

これから社会にでる皆さんへ
「春秋に富む」も老い易く学成り難し

【プロジェクト】

大型設備基盤センターからのご案内2

【ごきそホットライン】

表彰者紹介
奨学金の授与
教官研究助成金贈呈式

【クラブ紹介】

マジックサークル部
航空部 活動紹介

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

パズル

No.440

発行 社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>



平成23年度 (社)名古屋工業会第45回通常総会ご案内

ところ 中日パレス

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5F TEL 052-261-8851

特別講演 15:40~16:40 ”

パーティー会費 6,000円

(当日受付へお支払ください)

議 事

第2号議案 平成23年度事業計画及び予算案

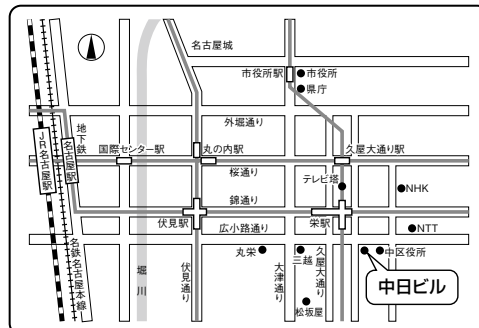
第4号議案 その他

行事

ロ. 名古屋工業大学定年・勸奨退職者への感謝状と記念品贈呈

(総会出席者及び委任状提出者に限る)

演題：「ITとロボット技術を基盤とした国際救助隊サンダーバードの構築を目指して」



なお、ハ、の卒業該当の方へは特にご案内を差し上げませんので、本誌に挟み込みの「通信ハガキ」にてご出席の有無をお知らせください。また、正会員の方でご欠席の場合は、お手数ですが挟み込みの委任状にご記名ご捺印の上、返送いただきますようお願い申し上げます。

会の名称に関する投票について

理事長

前号でお知らせしたとおり、一般社団法人への移行に伴う新定款案の作成に当たり、平成20年度の通常総会で保留扱いになっていた会の名称について、会員の投票により決定することが平成22年10月の理事会で承認されました。つきましては、会員の皆様には挟み込みの総会の出欠ハガキにあります投票用紙へのご記入を必ず行い、返送いただきますようお願い致します。

なお、投票の締め切りは5月6日とし、締切日までの到着分で集計を行い、名称を決定することとします。

- ・今回で最終的に名称を決定することとなりますので、投票数の多少に関わらず、最多得票の名称に決定することになります。
- ・名称の候補は以下のとおりとします。

- 伝統ある現在の名称であるが、名古屋の産業界団体と

伝統ある現在の名称であるが、名古屋の産業界団体との混同・誤解を生ずるとする意見がある。

- 工業会の機関誌名として使われ、また卒業生を中

工業会の機関誌名として使われ、また卒業生を中心としたグループ・団体で使われている例も多く、知名度はあるが混同の恐れはある。

- 工業会の機関誌名として使われ、また卒業生を中心とし

工業会の機関誌名として使われ、また卒業生を中心としたグループ・団体で使われている例も多く、知名度はあるが混同の恐れはある。

- (3)を漢字表記したもの、知名度は低い。

(3)を漢字表記したもの、知名度は低い。

(注) (名古屋工業大学全学同窓会) は定款には記載せず、必要に応じて表記する。

名古屋工業会定例評議員会ご案内

とき：平成23年5月21日（土）12：30～13：30 場所：中日パレス コスモス

表紙写真説明

「祝福の春！」（長野 高遠城址 木曾駒を望む）

長野に春を追いかけてきました。日本にしかない固有の美しさがあると思います。

みなさんもこの春は、各地に足を運んでみて下さい。今しか見られないその瞬間を！

撮影者 安村隆志 (W①)

OBトップセミナー

平成22年度の就職ガイダンスの一環として名古屋工業会が共催するOBトップセミナーが11月17日(水)に行なわれ、企業の現役トップの日本アイ・ビー・エム(株)取締役専務執行役員東上征司氏(J57)及びアイシン精機(株)常務役員兼イムラアメリカ社長大光敬史氏(M49)から学生に対して貴重な講演をいただいた。この講演会は昨年に引き続き2回目で、会場にはあふれる程の多数の学生が熱心に聴講した。

東上氏ご講演

これからの社会で求められる人材

【IBMのご紹介】

日本IBMは、米国のIBMコーポレーションの日本法人です。IBMコーポレーションは、ニューヨーク州のアーモンクに本社を置き、1911年に創業されました。来年2011年には創業100周年を迎えます。世界170カ国で事業展開しており、約40万人の社員がいます。日本IBMは、1937年に創業されました。

幸いIBMは高くご評価いただいております、ブランド価値によるグローバル・ブランド・ランキングで2位、Fortune誌のリーダー育成企業で1位をいただいております。また、厚生労働省の均等・両立推進企業表彰で最優秀賞を今年いただきました。2003年にも最優秀賞を受賞していますが、2度目の受賞は日本IBMが初めてだそうです。さらに、最近はダイバーシティ、すなわち年齢、性別、学歴などによらない公平な処遇への取り組みをマスコミにご評価いただいております。

IT業界は一般的に、ハードウェア、ソフトウェア、サービスの3つの分野に分類されますが、IBMはその全ての分野で事業展開しており、その総合力であらゆる業種や規模のお客様

を支援しています。皆さんが身近に感じられる事例をいくつか紹介しますと、1964年の東京オリンピックを皮切りに、銀行、鉄鋼、新聞など企業の基幹システムにおいて、世界初や日本初となる大規模なシステム開発を数多く手がけてきました。アポロ11号の宇宙飛行士がIBMコンピュータの支援により人類初の月面着陸に成功し、IBMのスーパーコンピュータDeep Blue(ディープ・ブルー)がチェスの世界チャンピオンに勝ちました。さらに身近な例では、コンビニに設置されているATMの他、任天堂Wii、ソニーPlayStation3、マイクロソフトXboxなどのゲーム機のプロセッサはIBMが開発しました。また、三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所様では、IBMの航空機設計システムを長年お使いいただいております、私は1992～1993年に名古屋で営業課長だった当時ボーイング777の設計システムのプロジェクトに携わっておりました。他にも最近話題のクラウドを活用したオンライン・ショップを千趣会様でご採用いただいておりますし、東邦ガス様や愛知県庁様がIBMのシステムをご活用いただいております、先進的な取り組みに成功しております。

このようなIBMの先進的なテクノロジーや事例を支える源になっているのは人材です。最も注力しているのが人事施策で、研修、留学、海

プロフェッショナルを支える人事施策

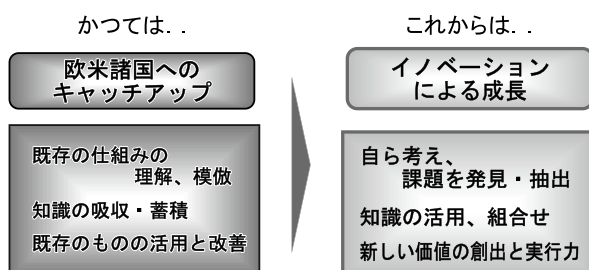
成長を支える仕組み	自立的な働き方を支援する仕組み	毎日を支える仕組み
 ・グローバル共通能力評価制度 ・充実した社内研修 ・グローバル社内人材公募 ・IBM海外支援チーム(開発遠上国の支援プログラム) ・社内留学制度 …etc	 ・フレックスタイム ・在宅勤務(e-work制度) ・残業勤務制度 ・ホーム・オフィス制度 …etc	 ・育児休暇 ・介護休暇 ・長時間勤務制度 ・託児所 ・住宅費補助 ・チームワーク推進費 …etc
 ダイバーシティ 年齢、性別、学歴などによらない処遇 「仕組み」や「働き方」など公平な機会提供		

外派遣などIBMの強みであるグローバルを活かした人材育成の他、フレックスタイム、在宅勤務、裁量勤務、育児・介護休職、託児所、住宅費補助など社員の働きやすさに配慮した制度を多く整備しています。また、ダイバーシティを推進しており、年齢、性別、学歴などによらない公平な処遇を全世界で徹底しています。

【これからの社会で求められる人材】

かつて日本が急速に成長していた時代には、欧米諸国を目標にして、欧米の既存の仕組みを理解・活用して、それらを模倣・改善していくことが求められていました。それにより日本は世界第2位の経済大国にまで成長しましたが、昨今の日本では様々な課題を抱え、国際競争力が年々低下しています。これからの社会では、既存の仕組みを模倣・改善するだけでは成長することができません。今後は自ら課題を発見して新しい価値を創出・実行する、すなわちイノベーションを推進できる人材が求められます。

社会の変化と求められる能力



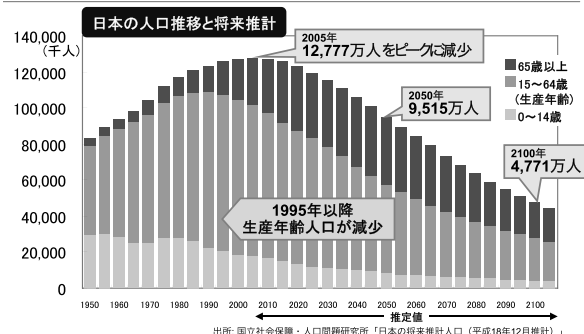
イノベーションの実現を担う人材の育成

現在の日本が抱えている課題を見てみましょう。1つめは人口減少社会の到来です。

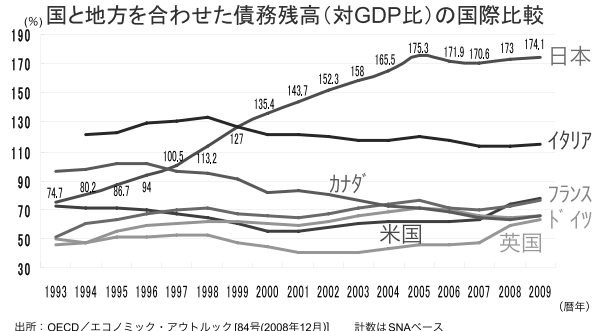
1995年以降生産年齢人口が減少し始めましたが、2005年をピークに人口全体も減少に転じており、高齢化の進行によって生産年齢人口の割合が徐々に減っていくことが予測されています。2つめの課題は膨大な長期債務残高です。

対GDP比の債務残高の推移を見ますと、他の先進国に比べて年々増加し続けているのが顕著です。国の借金が増え続けているにも関わらず、生産年齢人口の割合は減少しているため、ますます生産年齢世代の負担は大きくなっていきま

人口減少社会の到来：出生率 1.37



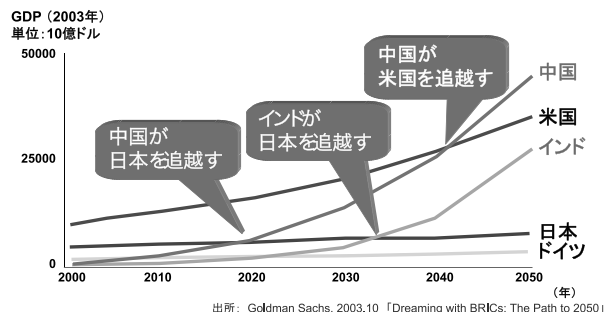
膨大な長期債務残高の存在



す。また、他に注目すべき課題としては、日本経済の成長を支える人材の教育です。世界大学ランキングで日本の大学は東大の24位が最高です。教育でも国際競争力の向上が今後の課題です。一方、世界に目を転じてみますと、アジア諸国、特に中国とインドの成長が目覚ましく、2050年までに中国はGDP世界一になると予測されています。

グローバル化：中国・インドの台頭

2040～50年には、中国がGDP世界一の国に成長



以上のように、日本は国際競争力が低下していますが、今後成長していくためには、熱意、意欲、協調性を兼ね備え、イノベーションを推進して国際競争力向上に貢献できる人材が必要です。民間企業が新卒学生を採用する時にも、

重視するポイントとして熱意・意欲を筆頭に挙げています。次いで、行動力・実行力、協調性、論理的思考力、すなわち、前に踏み出す力、チームで働く力、考え抜く力、の3つの能力を学生に求めています。

これからの社会で求められる能力

新卒採用時、ビジネスの基本能力として重視する力			社会人基礎力		
<大学卒>			<大学院卒>		
1位	熱意・意欲 (77.2%)		熱意・意欲 (70.5%)		
2位	行動力・実行力 (49.5%)		行動力・実行力 (45.3%)		
3位	協調性 (43.4%)		協調性 (38.2%)		
4位	論理的思考力 (21.7%)		専門知識 (28.0%)		
5位	問題解決力 (18.1%)		論理的思考力 (23.6%)		

前に踏み出す力

チームで働く力

考え抜く力

企業経営者の
問題意識とも共通

出典：経済同友会が実施した調査報告書(2008年5月)より抜粋
調査対象883社／回答297社（社員数総計156万人）

そして、それらの能力を判断する手段として、学校での成績や出身校を挙げている企業は皆無に等しく、面接を最も重視しています。筆記試験や専攻分野も判断基準にしていますが、大多数の企業が面接をトップに挙げていることが明らかです。

企業が採用の際に重視する事項

	大学（回答：288社）			大学院（回答：271社）		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
面接の結果	262	18	0	231	21	1
筆記試験の成績	1	103	53	1	86	51
専攻分野	7	46	48	12	62	49
学校での成績	0	3	32	0	3	23
出身校	2	3	13	2	3	11

出典：経済同友会が実施した調査報告書(2008年5月)より抜粋
調査対象883社／回答297社（社員数総計156万人）

これからの社会で求められる人材像を改めて3点にまとめます。1つめは基礎学力です。国際社会で通用する豊かな教養と、基礎学力、特に語学は世界の人たちとコミュニケーションする上で欠かせません。2つめは倫理観、社会規範性です。高い倫理観、価値観、公共心を持ち、他者を思いやる必要があります。3つめは社会人基礎力です。課題を自ら発見し、考え、行動し、熱意と意欲を持って、他の人たちと上手にコミュニケーションできる能力が必要です。国際競争力向上とイノベーション推進に寄与できる人材が求められています。

【皆さんへの期待】

今後皆さんは社会人として約40年間働くことになります。人生の大半の時間を仕事に捧げるわけですから、自分にとって興味があり、達成感を得られる仕事に就くことが理想的です。そこで、改めて今一度自分自身に問いかけてみて下さい。自分の関心のある分野は何か？ 将来何になりたいのか？ そのためにどのような勉強が必要なのか？ もっとも尊敬する人は？

そして、皆さんが夢を実現するためには、何でも結構ですが、これなら誰にも負けないというものを確立して欲しいと思います。「一芸に秀でよ」ということです。また、人生には必ずきっかけがあります。その岐路に立たされた時、最後に決断をするのは自分自身です。いろいろな方々に相談してアドバイスいただくことは重要ですが、「自らの人生は自ら決めよ」という言葉を最後に皆さんに贈りたいと思います。

夢、実現に向けて

一芸に秀でよ。

人生には きっかけがある。

自らの人生は 自ら決めよ。



東上征司 大阪府出身 昭和33年生
日本アイ・ビー・エム(株) 取締役専務執行役員
(グローバル・テクノロジー・サービス担当)
名古屋工業大学 情報工学科昭和57年卒業
同年日本アイ・ビー・エム(株)入社

大光氏ご講演

米国での研究開発を経て皆さんに伝えられること

私は1974年に機械学科を卒業し愛知県下のアイシン精機に入社し、自動変速機の開発に5年ほど従事した後、1979年に新設された米国研究室に派遣された。以来現在に至るまでに2度の米国駐在をし、通算26年以上米国で「新技術の研究開発」に携わり、現在は米国現地法人のイムラアメリカ研究所とアイシン精機の部署を担当している。私が長年やってきた米国研究開発現場での活動を通し、その経験から得たことを学生諸君に伝えたいと思う。

【第一回目の米国駐在：1979年～1986年】

デトロイト研究室が設立された1979年、私は派遣された人員の中で29歳と最も若かったが英語力が一番長けていた。そのため開発業務を立ち上げるだけでなく、オフィスの開設準備や日米の要人を迎えての開所式の企画や段取りなど、早い時期に研究技術者の業務以上に幅広い仕事をさせてもらった為、米国現地の人との交渉や会議を通して米国社会や物の考え方などを早く・多く吸収出来たのは幸運だった。

私自身は3年ほどでこのデトロイトオフィスを出て、ハイブリッド用パワートレインの研究開発をウイスコンシン大学マジソン本校のフランク教授の下で進めていた。この先生の研究室はほったて小屋で、汚く、あった設備も老朽化していたが、先生や学生らと過ごした3年半は大変楽しかった。ボスがないという気楽な仕事(?)であったが、自らが律してプロジェクトを進めていかねばならないので責任も大きかった。私の役割は開発マネージャで、先生の指導を仰ぎながら、学部生、院生だけでなく物の試作では大学の電気・制御スタッフも使い、総勢40名ほどでフライホイール(ハイブリッド)カーを試作していくことだった。ある霧の深い朝、皆で作りに上げたフライホイールカーを大学の駐車場で走らせた時の喜びはひとしおだった。1985年にそのフランク教授がカリフォルニア大学デービス校へ転職したので、一緒に移り一年ほど車両制御の研究をし始めていたが1986年、7年半と長い駐在を終えて日本に戻ってきた。日本での約4年間は米国研究室との連携プロジェクトを進めていたが、アイシン精機トップから新たな研究所

の企画をやれということで、これまでの日本の出先の研究室体制から、もっと積極的に現地の優秀な人材を登用できる体制を敷き、独自性を重視した研究開発を実施するよう方針がはっきりしていた。既に40歳間近になっていた私は、米国滞在中に繋がっていた人脈をたぐって研究分野の試行錯誤を繰り返していたが、やるなら「光」技術分野を新たな研究テーマにしようと考えていた。

1-1. イムラアメリカとは

アイシン精機元名誉相談役(故)豊田稔氏による
新技術創製ビジョンに沿い、先端技術研究を進める
アイシングループの米国研究所

1. 科学と技術の調和的發展を目指せ
2. 海外の優秀な人材活用を図れ
3. 世界の信頼を勝ち取りつつ開発を進めよ

歴史的背景

- ・1979年：デトロイト地区にミニ研究所として前身組織が発足
- ・1986年：フランスのニースに「イムラ」が設立される
- ・1990年：米国アナーバー市でイムラアメリカが法人化される
→アイシングループによる「イムラ世界研究活動」が本格化

IMRA = Institut Minoru de Recherche Avancée: イムラとは「稔先端研究所」のこと



【第二回目の米国駐在：1991年～現在】

ミシガン州アナーバー市に設立されたイムラアメリカ社は「光技術」を研究開発の基軸テーマとしたものの、数ある研究テーマから私が選択したのは、「フェムト秒レーザ」というものであった。

1-3. フェムト秒レーザ研究の歴史

- 初めてフェムト秒パルス(1ピコ以下のパルス)を発生させたのは、1968年 E.B. Treacyが固体レーザ(Nd ガラスレーザ)で実現
- その後1970年代、80年代のフェムト秒レーザは主にレーザ媒体が液体色素で構成された色素レーザで、最初にフェムト秒に達したのは E.P. Ippen他
- 1990年代以降はフェムト秒レーザの短パルス化には固体式のチタンサファイアレーザが主流となった
- ファ이버レーザが一桁ピコ秒に達したのは、1989年でKafka他による (4ピコ秒)

フェムト秒レーザには面白い現象がある？

フェムト
1000兆分の1
(10^{-15} 秒)



技術素人の私が研究テーマを決めるのは大胆なことであるが、実は「良縁」があった。当時ミシガン大学の研究部門副学長をしておられたC・ベスト教授がイムラアメリカの開所式に来賓で来られた時、ミシガン大学の超短パルスレーザ研究グループを紹介いただいたのだ。早速この研究所に伺いこれなら将来の「光エンジン」になるかもしれないと思った。とにかくレーザのピークパワーが数百メガワットという、とてつもなく高い値が出せるのは、空气中を伝搬するに光には大切な要素であろうと

単純に考えた。ただイムラアメリカは大学と違って、産業用（つまり自動車車載用も見据えて）に向けた研究開発をやるべしという観点から、小型化・安定性・安価にできる素性を持つであろう「光ファイバー方式のフェムト秒レーザ」に賭けた。

1992年に光ファイバー方式で、研究界で頭角を現していたフェムト秒レーザの若手研究者をリクルートできた。私自身は研究所長として研究資金を確保し、研究者が研究をやり易い環境作りするのがまず最大の責任であり、研究成果で世界のトップを目指そうと懸命に研究に打ち込む研究者らとで小さく始めたが、結局18年間後の今、この技術が幹となって研究所が生き延びてくるとは思ってもみなかった。イムラアメリカではフェムト秒レーザ研究以外にも、私のカリフォルニア駐在の頃からやってきていたITS（Intelligent Transportation Systems）や電気化学分野の研究開発もしていたが、1997年頃に研究所に危機が訪れた。当時、自動走行車をサンディエゴのフリーウエーで走らせる米国運輸省の大型プロジェクトに参画していたが、開発規模を拡大しすぎて入金よりも出金が増え回ってしまい、至急研究テーマを整理しないといけなくなったのだ。幸い地道に進めていたフェムト秒レーザ研究は世界のトップに行くほどに力を伸ばしていた。適正な研究環境が与えられて、じっくりと研究を進めた研究者は、他の大学や研究機関より先進的で高品質な研究発表をどんどんやってきていた。そしてこの期を境に研究所としては「自動車離れ」をすることになった。

【新技術を世に広めるための開発決意】

イムラアメリカの使命に、「技術を世に役立てる」という一言がある。研究所という「基礎的なことだけをやって技術を世の中に役立てるのは違う人がやる」といった硬い考え方があるかもしれないが、私たちの思想はそうではない。フェムト秒レーザの技術は最先端ではあるが、この技術を最も知っている人間もイムラアメリカにいる訳だから、結局自らが「世に役立てる」役割を貫けばよいということである。当時親会社のアイシングループでは右肩上がりが続く自動車事業への投入集中が起っていた為、頼れるのは今の自分の組織であり、結局研究所を上げてこのフェムト秒レーザを世に役に立てようと決意した。

1997年当時、フェムト秒レーザは「固体方式」の商品が市場には出ていたが、使えるところが極

めて限定的でその上技術者でも扱いにくい「悪評」の絶えない商品であった。これを大きなチャンスとみて、我々はその悪評を覆そうとこれまでの研究成果を棚卸して商品を作り出すべく、ベンチャー会社のように「事業化」に突き進み始めた。

研究と開発で大きく違うのは、開発に入った途端、財務・組織へのリスクが研究よりはるかに上がることである。つまり商品の姿に持っていくため、何度も設計をしては物を作り、試験評価というステップを繰り返さなければならないので、より多く投資が必要である。それでも狙う商品の姿が分かっていたらいいが、このフェムト秒レーザはそれがはっきりしない、つまりお客もいないのに開発に突っ込んでいかないといけないのだ。「新技術が他の人間に理解出来るくらいならそれは新技術に値しないから、市場が今なくても当然だ」、「やればきっと何か使い道があるに違いない」、「見つけたら我々は一番乗りで市場を独占できるはずだ」などのプラス思考をリーダーとして持ち続けチームを引っ張り、突き進むしかなかった。よりどころのない開発をするのはつらいが、そこは長年研究所慣れしていて失敗にも「耐性」が出来ていたし、他の研究テーマも縮小・中止してしまったからこれに賭けるしかない訳である。

苦労は重ねたが、事業に向けて動き出してから5年ほどで商品と顧客の目途が見え始め、さらに5年ほど商品開発の苦闘を経て、2007年から顧客にレーザ供給が始まった。現在「ニッチ市場独占」というビジネスを進めており、近視矯正の角膜手術用途と、LEDのサファイア基板の切断用途にレーザを供給し、世界の顧客に出回っている。

1-6.フェムト秒レーザの実用化への足跡

初代フェムト秒レーザの誕生

ハイオ機器応用（1996-98）
Carl Zeissとの2光子顕微鏡共同開発

光通信機器応用（2001-02）
Agilent Technology社の光サンプリングスコープ（光通信計測器）へのOEM供給

フェムト秒レーザを顕微鏡と一体化する！

現行フェムト秒レーザ

160Gb/sの波形もきれいに捕らえている

IMRA

【私の行動指針】

私はこれまでイムラの所員のほぼ全員を面談して雇用し、解雇もし、また他社や他の研究機関に移っ

ていった人達を観察し、また引き戻したこともある。人に対する目利きがよいかというそうではないが、長年にわたる人とのつながりで研究開発の現場をマネージしてきた。

3-1. 大光が思うこと

- やはり「企業は人なり」である
- 技術もさることながら、「人」との繋がりがあって物事が進み、成功もする(失敗もあるが)
- 米国での研究開発や世界を相手の事業開拓での大きな成果は「人」との出会い

大光の行動指針

- ①目標は高くても出来ることから一歩ずつ
- ②不戦敗をしない

こういった中で常に思う自分の行動指針があり紹介したい。

➤「目標は高くても、やれることから一歩ずつ」と

➤「不戦敗をしない」

のふたつである。前者は研究開発というかなり長期にわたる活動に沿って、研究者ではないマネジメント役割の自分がやるべきことはいっぱいあり(勿論他の担当であっても同じ)、それも今日、今すぐ出来ることは即やっていこうというものである。それを毎日積み重ねていけば、目標に近付き、きっといつか光明が見えてくるということである。

後者は物事を成就させるためには、とにかく誰かに話を聞いてもらわなければならない訳であり、それがお客であれ、身内であれ、どんな状況もSpeak Outすることが必要であり、それを怠ったり遅らせたりしたら、命取りになると思っているからである。つまり自分がリングに上がらなければ、何も得られないのだ。チャンスが来ればそれに備えて、考え方を整理してリングに上がってみよう

3-2. 今よく言われていること

- 今の日本の繁栄は「戦後からの先輩や親の脈々たる努力の積み重ね」があってこそ。新たな努力を怠れば「日本国が滅ぶ」
 - 日本の戦後復興は世界の見本。しかしそれをまねて日本を凌駕する国がどんどん出る。
- 世界との競争に目を背けてはいけない。
 - 「海外勤務はイヤ」はあってはならない。
- 日本の将来は君らが背負う。内向きに縮んではだめだ!
-

いう訳だ。限られた情報だけでも打って出ていく果敢が必要である。恥ずかしいと思っはいけないし、堂々とやれば大丈夫だ。

この二つの簡単な行動を何年も重ねていくと、必ずいつか良縁に恵まれるということも経験してきた、つまり「運」を引き込むことになる。技術や事業がうまくいくには、人との良縁なしには難しいと思う。毎日の弛まぬ自らの努力が、人との良縁を通して「運」を持ち込む秘訣かもしれない。

【学生諸君が今やれることを見つけ行動してほしい】

この二つの行動指針で、学生諸君も今自分がやれることから、規模を大きくしてやれることまで、多くの「やれること」があるはずである。人を説得するのは時間がかかり、自分の思う方向に動いてもらえる保証はない。

3-9. 学生諸君が今出来ること(例)

- TVやラジオにあふれる英会話番組でまず勉強を始めてみようと思う
 - 名古屋弁は英語(米語)に近い発音があり、英語習得には最適な方言である:ミヤとかニヤとか...
- ESS (English Speaking Society)を訪ね、英語を楽しく身につけようとする
 - 私はそこで麻雀ばかりしていたが
- 先生方を説得し、英語で講義をしてもらうよう頼む
- イムラアメリカに米国でのインターンシップや仕事はないのかと聞く

より積極的な行動

それなら自分はまずやれることはやっておき、他人を徐々に巻き込んでいく方法が賢明である。先に行動していれば、誰よりも早く動いた諸君らに、失敗を重ねた末に運が舞い込むはずだ。そして自分にも実力がついていくはずである。

今の世界を見渡すと、私がやってきた時代とは相当違ってきている。昔の時代の流れ方にはないスピードや厳然たる今日の日本の状況がある。例えば自動車を取り巻く環境は30年前も厳しかったが、今の方がもっと厳しい。日本が築いてきた技術はブラックボックス化が図られなくなって、どんどん他国に漏れてしまい競争力がなくなってきている。一方米国ではとくに多くの製造業は国外流出してしまっているが、それでも技術開発力ではまだまだ世界一であろう。その下支えをしているのはハングリー精神旺盛な研究者・起業家であり、その多くは開発途上国の留学生たちである。彼らが米国で最高教育を受けて、母国に戻り国力を上

げていく構造は、今から20数年前の日本がのし上がった形と変わらない。しかしある時から日本はJapan as Number Oneと言われてハングリー型人間が消えて、栄華を極める国でのエンジョイ型の人々の国になってしまった。一旦漕ぐのをやめたら、資源のない国・小国である我が国は世界競争力が一気に削がれてしまう。「一番でなければいけないですか? 二番ではいけないですか?」と言った国会議員がいたが、「技術は常にトップを目指さなければダメ」なのである。それも「ぶっちぎり」となるように研究開発の現場では「多様な考え方」をぶつけ合いながら技術開発をやり、イノベーションを産んでいかねばならない。(イムラアメリカは小さいながら、多民族の集団でありその多様性を持っている)

2-3. 研究開発の現場

ポイント : 米国では先端研究開発は、海外からの移民や留学生で支えられている
(中国4000人、韓国・インドは各1200人が米国で博士学位を取得)
現状のイムラアメリカの博士号取得者(合計24名)の民族分布



イムラアメリカでは英語を共通語として、11カ国からの人々が働いている

私はこの8年間ほどミシガン大学工学部の諮問委員をやっているが、その国際展開も大変先進的である。ミシガン大学も今はアジアや中東諸国といった今後大きく発展していく国の大学との連携をしており、その繋ぎをしているのがそれらの国の留学生として米国に来て、そしてミシガン大学に残り教授になってきた優秀な人々である。ここにも「米国の多様性社会」が他のどこの国よりも早く「リーチアウト(繋ぐ)」できる素地を持っているのだ。日本の大学もこういった多様性を積極的に利用する政策や制度作りを加速せねばならないであろう。

さて学生諸君や大学関係者にもすぐにこの「多様性」を身につけていく前にやってもらいたい事がある。「英語」を話せるようにしてほしいのである。私は大学時代から英語は話せたし、それで過分の仕事を任せてもらえたという運に巡り合えた。今は「英語」を喋らないと世界から除者になってしまう現実がそこにある。つまり英語ができないと「不戦敗する」可能性が高いのだ。皆さんには

目標を決めて「すぐやれることから一歩ずつ」英語を身につけてほしいのだ、私の時代に比べて多くの教材やチャンスに恵まれた今の皆さんに出来ない訳はない。

【最後に】

今後の日本は超高齢・介護社会になっていき、徐々に国の力は削がれていくので先行きは甘くないが、それでもどこにも負けないような良い国にしていくことはできると信じている。日本の強さはいくつかあるがそれを使わないでいるだけである。そのひとつは皆さんの若い力だと思う。また若い世代だけにすべてを預けず、これまで頑張ってきたからゆっくりしようなどと思っている先輩諸氏も一緒になってこの国を良くしていくように行動していかないと、出来るものも出来ないと思う。ぜひこの国の為に今やれることがあれば、まず一歩を踏み出してほしいと願いつつ筆を置きたい。

まとめ

- ・日本と米国の「空気感」の違いを体得し、諦めずに精進すれば、世界で競争できる
- ・自分ができること、今やれることから始める
- ・「不戦敗をしない」行動をしてほしい
- ・学生さんが動きやすいように、先生、大学、親の皆さんが配慮しがけてあげてほしい。「(違った人種・民族の)人」と会える機会を増やしてやって頂きたい。



大光敬史 昭和25年生

アイシン精機(株) 常務役員兼イムラアメリカ 社長
名古屋工業大学 機械工学科昭和49年卒業
同年アイシン精機(株)入社

トピックス

これから社会へでる方へのメッセージ

これから社会にでる皆さんへ

(H22年度 双友会講演会にて)

黒金化成株式会社 取締役相談役 竹村 皎 (W29)

皆さんこんにちは。

私は名古屋工業大学の2期生で、昭和25年に入学して29年に卒業しました。生年月日は昭和6年4月3日、満79歳、数えでは80歳でございますが、見た目は5,60位だろうと皆さんは思われたかもしれませんけども、80のお爺さんでございます。下手するとあなたがた学生さんの曾祖父さんにあたる人もひょっとしたらいるかもしれませんね。

現在、私は、黒金化成株式会社という有機合成化学をやっておる会社の、取締役相談役ということでございます。有機合成化学の会社です。事業内容としては、「共重合用モノマー」、「光重合開始剤」、「合成有機材料」、「特殊エステル」、ざっと、こういうものを手がけております。

なぜ黒金化成というややこしい名前かというと、私の両親が、高知県の佐川の出でして、お酒は銘酒「司牡丹」、お酒好きの先生方、先輩方のご存じかと思いますが、黒金屋という屋号がありまして、この「司牡丹」も黒金屋の一つなんです。黒金化成という会社を戦後、昭和22年に創りました。創業者の私の父が、祖先の名前を汚さないようにということで黒金という名前を頂いて、今日に至るということでございます。

ちなみに、皆さん御存じの黒鉄ヒロシも、同じ竹村の一族で彼のペンネームは黒鉄、本名は竹村弘といいますけれども、黒鉄ヒロシが全国区。黒金化成は名古屋の地方区（知立）、ということでございます。知立ってというのは、東海道五十三次の「池鯉鮒」。今の「知立」って字の前は「池鯉鮒」、池の多い所で、池の鯉の鮒と書いてチリュウ。広重の絵にも出てくるっていう、江戸から39番目の宿場町。そして栄えたところが知立というところでございます。

現在、知立の工場は合成室が、第一、第二、第四、第五とあります。それからテクニカルセ



ンターというのが、新幹線が走っているところですけども、三河安城から出てものの3分くらい、名古屋駅から出てちょうど7分くらいのところにあります。合成室が二つと、研究棟、クリーンルームなどもある、最新の工場です。医薬の中間体とか、光重合開始剤、最近の液晶関連、その他のことにも色々使われている原料を作っています。製品は液体と粉体ですから見た目には何も面白くない、判らない物ですけども。要するに有機合成化学というものは、社会の文明文化の全く縁の下の力持ちで、表には液晶テレビだとかスポーツカーだとかいったようには形には出てまいりませんけれども、それを動かしている、それを機能させているのは、我々有機合成化学であり、その性能を組み込んでいろいろ合成しているということで、本当に小なりといえども随分川上の仕事をさせて頂いている。そういう自負を持って会社経営にあたっている、ということでございます。

さて、題目としては偉そうに「社会人としての資質とは」。これから社会人として巣立っていくあなたの方に対して何かしらのお話しができればと思って、そういう題にした訳ですが、果たしてまだ勉強の身である学生さんに色々難し

い話をしても判り辛いだろうと。むしろ、私が昭和29年卒業というあなた方とは何世代も違うような時代にこの学校を出たものですから、当時の名古屋工業大学というものはどんな姿だったのかなあということからお話することが、この時代ギャップといえますか、あなた方がいかに幸せに勉強できているかということがわかってもらえるし、「こんないい環境にいらんだったらもっとしっかりよく学びよく遊びで学生生活を送らないかな」、というようなことがわかっていただければと思って、当時の学生生活といえますか、名工大の姿といえますか、ちょっと掻い摘んでお話をしてみたいと思います。

当時、名工大には8つの科がありました。建築、土木、工業化学、紡織（双友会の母体）、電気、機械、窯業、金属。だいたい1クラスが40人前後。かける8で320名、かける4学年、こういうような規模でした。多分、授業料が年間5000円ぐらいじゃなかったかなと思います。S29年に大学を卒業して私が頂いた初任給が10800円の時代。お金のことで申し上げるとかなり感覚がわかるかと思います。

キャンパスには千種分校というのがありまして、教養の科目は千種分校で受けるということでした。私が2年生のときに食堂ができて、なかなか贅沢な物はメニューにはなかったんですけども、私の一番記憶に残っているのは、薄っぺらな、本当に薄っぺらい豚カツがありました。それが確か10円ぐらいだったと思います。私はテニスをやっていたこともあり、その当時、東京工大へ遠征した（いまだに東京工大との親睦試合は続いているようですが）ときに大岡山の校舎へ行きお昼に食堂行ったんです。まあなんと銀座のレストラン並みみたいでしたね、豚カツも分厚いんですよね。それで、きざみキャベツに他の野菜、それからポテトサラダついて、確か15円でしたかね。しかし、名工大のペラペラの10円とむこうの15円とではだいぶ付加価値が違うなと思ひましてね。やっぱり同じ国立大学でも新制の名工大と蔵前高等工業からの東京工大とは、こんなに文部省のお膝元だと補助金が違うのかなと。すごくあのときにショック

でした。なんか学力とかそういうことじゃなしに、食べ物で東工大とすごく差をつけられたと、いまだに頭に残っています。

今も皆な随分部活は運動部も文化部もやっておられるようですが、非常に強かったですね、名工大というのは。特に運動部が強かった。全国、全日本とかインターカレッジとか、そういうところへ常連で出るのは馬術、ヨット部、テニス部。それから東海でバスケットボールとバレーボールが強かった。非常に元気のある学校でした。

さて、どうして今この仕事に関わってきたかという話をしたいとおもいます。私は、今の生命・物質工学科とか何とかということじゃなくて、いわゆる単純に紡織学科（織物を織る、紡ぎ織る）という学科へ入学しました。双友会のWはWeave（Weaving）の「織る」意味です。なぜこの名工大紡織学科かということからになります。私はもともと商売人になりたかったんです、幼い時から。

当時は一期校と二期校とありまして、私はテニスをやっていたから、新制高校の3年生に編入するときに、早稲田の高等学院へ行きたかったんです。我々の仲間も随分行きましたし、早稲田はテニスが強かったですからね。でも親が、地元の国立大学にじゃなきゃ授業料出さんという話だったんです。止むを得ず、名古屋大学受けるかということで、「経済」を受けたんですけども見事に落っこちました。それで二期校というのが学芸大学（今の教育大学）とここ（名工大）しかないんで。学校の先生になるつもりはない。じゃあ名工大。8つの科で勉強して卒業して商売人に一番役に立つのは何だ、やっぱり繊維だなと。繊維やって繊維商社って、それでやってやろうと。

もともと私の会社、黒金化成は昭和22年に設立されていますけども、戦前はまた別の仕事として、塗料関連の仕事を親父はやっていました。それ以前の高知にいるときは、うちは黒金屋という竹村呉服店。親父はその呉服屋の若旦那だったわけですけども、田舎でそんな大正時代に呉服屋引き受けても将来いったい何のことがあると、青雲の志をいだいて、幼い子供二人

(私の長兄と長姉)、それはまだ小学生、小さな幼子を抱えて、名古屋へ飛び出してきて、今日までこうやって私どもに仕事を残してくれているということです。

親父から聞いていた話で、当時高知（明治時代）で、中学へ行くということは贅沢だった。うちの親父は田舎から高知の中学へ下宿して通わせてもらっており、その次に当時できた名古屋高等工業の機織科へ行きたかったそうです。そうしたら親に反対されて、そんな高知の中学までやらせたのに、まだ上の名古屋の学校まで行くのかと、だめだと言われて。止むを得ず呉服屋をやっていた。どうしても飽き足らなくて呉服屋を廃業して名古屋へ出てきたと、こういう経緯があるもんですから、「繊維」、親父が受けたくても行かせてもらえなかった学校へ行くっていうのも、なんか縁があるかなと、こういうつもりも私には半分ありました。それで私は繊維を選んだんです。

就職活動。私は商社希望でしたから、そこに願書を出したんです。今の興和、名古屋のコーワですね。葉で有名ですけども、興和はもともと繊維会社です。それで紡績部門は興和紡績というのがある、願書は興和（当時は興服産業）の方へ出したんです。そしたら4年生の秋ごろ人事から問い合わせがありましてね、「君は願書を出すところを間違えていますね。」と。「名古屋の紡績学科でしたら、願書出すのは興和紡績じゃありませんか」と、試験問題が違いますよと、問い合わせがあったんです。で、「違いますと。わかっています。」とそんなことは。（俺がね、入社試験の…の時にやれるな）と思って、そのうち面接ではやっぱりそういう話になりましたから、ちゃんちゃんばらばらやりました。すごく元気よかったです。今はこういうこと言っていると、あなた方のこれからの就職活動にどういう影響があるかわかりませんが、とにかく言いたいことは言う、ということです。はっきり自分の態度を、考え方を明確にするということ。

そんなことがあって、入社しました。入社後一週間ぐらいしたら、和歌山へ行けと。和歌山に支店があるんです。昭和29年4月の話です。

和歌山へ行けたって、どんな田舎だと、まあ社用ですから行くよりしょうがない。今のようになんか格好いいポストンバックだ何だある時代じゃありませんから、柳行李（やなぎごうり）って言っても判らんですかね。まあ、相撲の明荷がありますね、褌かつぎが関取の明荷かついでいく、あんなような物だと思って下さい。それに詰めて、和歌山までガタガタ汽車に乗って行きました。汽車、電車乗り継いで。そのときふと思ったんです。「待てよ、和歌山支店、支店は支店。他には小樽の出張所や久留米の出張所や、出張所は沢山ありましたけど、支店だったら大阪支店、京都支店…3番目か。でもなあ、こんな田舎へ来ちゃってね、ひょっとして竹村皎という存在が人事部の名簿から忘れ去られるようだと、これは事は重大だぞ」、と子供心というか青年心になんかそういう自己顕示欲みたいなものがムラムラと沸いてきたんですね。

仕事は元より、一所懸命教えられたことをやろうと。それでとにかく良きにつけ悪きにつけ和歌山支店に竹村あり、ということのを和歌山の地から名古屋の本店の人事まで聞こえるように、とにかく暴れてやろうと。本当に仕事もしましたし、遊びもしましたし、時々いろんな調査やなんかに来る重役さん捉まえては問答ふっかけたり、とにかく、「竹村」っていうのはここにおります、忘れんといってくださいというようなことを一生懸命アピールしたりした社会人一年生、二年生という時代でした。部活でテニスを中学、高校、大学とやってきて、部をまとめてきたこととか、この紡績学科で学んだ四年間で先輩、先生から教えられたこと、どうやって自分が身につけてきたかということを無駄にしないように心掛けたつもりです。

人生は今、80年といいますか、100年としましょう、100年長いようですが、この大宇宙のことから言えば、一雫にもならないんですね。100年なんてどこに存在するかわからないような。その中の自分が過ごしてきた、学生生活20年とか、あるいは社会人生活40年とかいう、あるいはその瞬間、瞬間を否定したら自分の全人生、全人格を否定するような気持ちになっちゃうんですね。だったらもう全部ポジティブシン

キング、とにかく、わかりやすく言えば、常に常に躍動していようと。考える時は落ち着いて考えればいいじゃないか、あとはもうポジティブに動こう、もちろん反省もし、マイナスもしますけども結論は必ずポジティブに出していく、そういうことで、自分の人生を否定しない。ということが、いまだこういう若さを保っている秘訣かなと思います。

黒金化成は昭和22年（私が中学の3、4年生、今でいう高校2年生）からあるわけですから、今こうやってこの化学会社の経営をしなければならんということを当時感じておれば、名工大入学もひょっとしたら繊維ではなく、工業化学の方を選んでいたかもしれません。が、当時私はいっさい親父や兄貴の会社を継ぐっていう気はなかった。

ところがやはり、人材難といいますか、6年ぐらい経ちますと、どうしても名古屋へ、うちの会社の将来やってくれんかという話がありまして。随分私も興和時代にはいい仕事をやらせてもらってましたから、自分が決心するのに…、だってやっぱり興和っていえば、上場してるし、何千人の会社ですし、当時黒金化成は二十数人くらいの会社ですよ。そんなところへ女房子ども連れて、私は結婚早かったですから…、思いましたよ。半年考えました。

でも、まあ、縁があって、親父や兄貴がそこまで言うんだったらということで、退社を申し出ました。そしたら会社はいかんと言う。君を戦力として失うわけにはいかんと言われて。これは自慢で言ってるわけじゃないですよ。でもまあ最終的には、「他所の会社に行くっていうのは絶対に許さんけども、家業を継がなきゃならんというなら止むを得ない、その代わり引き継ぎその他のことに時間をきっちりとれよ」ということで、それから一年近くかかりましたね、辞めさせてもらうのに。

そうやって円満退社して今の会社に来た。人生いろんな転機っていいですか、変わり目っていか、その時にどういう風に自分の人生を考えるか、そう考えた以上は自分の決断と行動に責任をとれと言うことだと思います。だから一切の悔いありませんし、むしろ良かったなと。

そして80になってまだこうやって会社に行ってますから、興和におったらいくら重役さんにしてもらっても、専務だ、副社長だやらしてもらっても、もう今はいませんわ。サラリーマンのOBの方がたくさんいらっしゃるんで、語弊があったらごめんなさい。そんなようなことで、自分の経歴に自信っていいですか、責任っていいですか、そういうものを持って行動すれば、道は開けていくのではないかと思います。

（中略）

話をまとめの方に入っていきますけども、いろいろな話をしてきました。その中から何かをつかんでいただければと思うんですけども。やっぱり、基になるのは人間としての精神構造ではないかと思いますね。

それで今日、配布物に「処世要諦」っていうのがあると思うんですけども。これは実は私の明治22年生まれの父親が昔に、昭和何年頃かどうか知りません、あるいは大正時代に呉服屋をやっていた頃書いていたことかもしれませんけども、これを基にして私どもは社是とか、社訓、企業理念とかいうようなものを作っているわけです。

「処世要諦」

- 一、営業乃至仕事は天職と観ずべし、不足なし。
- 一、十方只誠意の一途、先ず我に対し、神に対し、仏に対し、人に対し、世間に対し、物に対し、誠意を持ってすべし。親切、丁寧、敏速、利他、正直、皆之誠意の一語に包含さるものなり。売るには買い手の気持ちを、買うには売り手の心を観ずべきなり。
- 一、物事を全て善意に解すべし。人の悪しきは我が悪しきなり。失敗、不幸皆な天意なり。即ち我れ未だ至らざるなり、足らざるなり、不徳なり。
- 一、用意周到なるべし。壁馬式^(注1)を戒しむ。
- 一、危うきに近寄らざるは之れ君主の道なれども、又虎穴に入りて虎兇を得るは勇猛智略の将と知るべし。

最後が一番好きな言葉なんです。やっぱりここっていうときには、ある程度のリスクを冒してでも、飛び込んで行け。しかしそれには、その前に用意周到、熟慮断行ということも必要か

と思います。

これを基にして、現代文的に優しく、「行動規範制定」というものを5つ作ってあります。

「一つ、我々は自分の仕事を天職と考え、誇りと責任を持って進もう。」

「一つ、我々は何事にも誠意をつくし、省みて悔いのない生活を送ろう。」

「一つ、我々は持ちつ持たれつの世間の御恩に感謝の日々を送ろう。」

「一つ、我々は物事は全て善意に解し、素直に受け取ろう。」

「一つ、我々は何事にも用意周到で、熟慮断行しよう。」

この処世要諦を現代文的に作り直して、ひとつの社是として制定しました。

心のあり方、自分はこの世間の位置づけでどうあるべきか、近所隣のお付き合いをどうしたらいいか、友達関係はどうしたらいいか、全てこういう今の皆さんのことは、処世要諦をよく読んでかみしめてもらえれば、全部答えは出ていると思います。

それからもう一つ、「義務と責任と権利」というのがあります。これは平成6年の「双友会だより」、当時まだご存命でした国貞先生に頼まれて、私が「双友会だより」に書いたものを、紹介したいと思います。

今、平成6年、1994年。当時14歳で海軍士官を夢みて、文字通り、文武両道に励んでいた少年の五体を、閃光が駆け抜けたあの8月15日もすでに半世紀の彼方に追いやられ、戦中戦後の暮らしの様々はもう昔話になってしまった。大日本帝国憲法のもとで教育勅語の論しを旨として育まれてきた環境は一夜にして民主主義の名目とともに大転換した。男女七才にして席を同じくせずの分別が、思春期真只中に突然の男女共学とか、マルクス主義を始めとする思想の開放、言論に自由などなど、行方定めぬ旅枕的に今日の時勢とは全く異質な情報過剰の世情に大いに戸惑いもした。

やがて新制大学二期生として入学することになった私は、戦後の6・3・3・4の学制改革にある種の疑問を持っていた。これは五人兄弟（T3～S10年）の四人目として生を受け、家族の

古いしきたりの中で育った環境にもよろうが、私自身、新制高校編入当時（S23年）から、権利先行型の生活を是とする風潮に抵抗感を抱いていたような気がする。テニスに明け暮れたのもその反動だったかもしれない。幼い時から人としての義務と責任を学んできた者が、いつしか国家主義的な解釈に導かれもしたが、それでも“三つ子の魂百まで”と心に刻み込まれた常識は、失うべくもなかった。名工大入学式の日、級友を前にして私は言った、「我々は縁あって同じ角帽を被ることになったけれど昔の角帽とは似て非なるものと思う。勉学の道を究めた者は更に上で学べ。我々は四年間を多くの先輩達がそうであったように、大らかに人生を語り合い友情の絆を結ぼう。人の付き合いとは、己の都合を犠牲にしてまでもすることが、真の付き合いだ。そこに何かが生まれ何かを学ぶことが出来る筈だ」などどこぞかしいことを大言してしまった。今思えば、誠に汗顔の極みであるが、お陰で29年に卒業して毎年欠かさずクラス会が盛大に催され「団結のW29年」と学内でも有名を馳せている。とに角、様変わりしていく世の中で自分の目で、足で、人としての正しい在り方を懸命に捜し求めようとした時代であった。朝鮮動乱の軍需景気に沸き返った景気も、その終焉とともに不況時代に入った昭和29年春、社会人としての第一歩を初任給10800円で踏み出した。以来40年、高度成長を遂げる日本経済の中で二度の石油危機を乗り越え、近時代の産業界に存在し得て、今また、平成不況の最中に額に汗し手に油して、次代に託すべく活動できる幸せを味わっている。

今申したいことは、戦後教育の所為か、はたまた世界的風潮なのか、難しいことは判らぬが、日本人の心の不在を今程感じることはない。とに角、権利優先、義務不在、責任転嫁一色、然も怖いことにはそのことにすら気が付かず常識化されてしまっていることである。人の一生の間、どれ程の人によって生かされていくであろうか。勿論個々の生命力、精神力に負う所あれども、周りの人達との関わり無くしては正しい生活は営めないのは当然のことである。その為にはその時々における義務を果たすこと、責

任を持つことによって、万事良識の中で回転していくものであろう。その行為が権利を自然に呼び込むものと信じている。これを別の観点から申せば思いやりの心ではなかろうか。先ず相手の立場になって考えること。そうすれば自分が今何をしなければならんのか、何を考えねばならんのか判る筈で、例えば、昨今増え続ける交通事故も激減する筈。次の一手、次の一步の推察も可能になる。互譲の精神、後の先、私自身これらのことを常に念頭において精進する毎日である。即ち、売るには買い手の気持ちを、買うには売り手の心を観ずべしである。

さて、今頃の不況はバブル経済崩壊が要因と言われているが、よって来る所は、心のバブルではないでしょうか。心のバブルが一度はじける、正しいところへ立戻ることこそ、日本が世界から尊敬されるリーダーシップを執れる国へ成長しうる源泉と考えます。現在、学内で学ぶ後輩諸君も目前の千変万化の現象面のみに眼を奪われることなく、物事の本質を見極める判断力、行動力、心を学んでください。そして義務と責任と権利の在り方について、よく考えてみてください。何かお役に立てばと思います。

最後に一言、経営の神様といわれる松下幸之助さんの言葉をお贈りして締めくくりにいたします。

「志を持ち続けることが大切だ。お互いの人生においては事の大小はともかく、折りあるごとに何かを決意し、その決意を持ち続けることが極めて大切である。その志がどれほど強く、また、それをどれほど長く、持ち続けられるかによって、その人の一生が大きく違ったものになると思う。」

ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

Q 用意周到で、熟慮断行しよう。という言葉が心に残りましたが、竹村様はそのような心がけをおこなっても失敗したことはございますか？

A それはありますよ。自分でね、これだけ考えたから大丈夫だ、例えば実験をしました。こうこうこうだぞ、こういうことは気をつけろよ

と、こういうことがきっと起こるかもしれないから、気をつけてやっていけよ、準備していけよ。わかりました。あ、多分ああだろうこうだろう、自分の知識の範囲内で、あるいはいろいろ勉強してね、で用意周到、よしこれでいこうと思っただって、そりゃやっぱね、間違えることはありますよ。予期せんことがね、起こる。だがその時に、予期せんことが起こった時に、パッととっさにその処置ができる、判断できる、そこで更に進むのか、退くのか、何だということが。大抵そこで躓きますね、私。商いでもあります。商売でも同じこと。そういうことの繰り返しで、おそらく今度は事前に吟味する時に、この前あそこまで考えていたのにこんなことが起きた、そしたらこの次は。問題は違ってもね、考え方は一緒なんで、そうするともういっぺん突っ込んで勉強しておこうかと。もういっぺん突っ込んでおけば、今度はおそらく想定する変化に対応できるぞとか、そうやってだんだん…、それがやはり年輪でしょ、経験でしょ。失敗しない人生なんてない。おそらく私、今こうやってしゃべっててね、ものすごく失敗してると思いますよ。今日の話、用意周到じゃなかったもん。ものすごく今、反省してる。だってこんな先輩方がいらっしゃると思わなかったから、学生さんをあまくみたわけじゃないんだけど、もっと若い人にはちょっとこの年齢で覆い被せられるなど、ちょっと思っていたところがあって、ここ（会場）にきてから、先輩方の、先生方のお顔を見て、慌てふためいてここに上がっているのが実情です。同じ。80歳になっても同じこと。繰り返し。これ。勉強。

注1) 壁馬式：壁に馬を乗りかける。無理を押し通す。

トピックス

新入生へのメッセージ

「春秋に富む」も老い易く学成り難し

サイタクライゾウム株式会社 代表取締役
『ごきそ』広報委員 山口 啓 (C49) サッカー部OB

1968年(昭43) 世界は激動していた▽1月 南ベトナム民族解放戦線「テト攻勢」▽4月 米キング牧師暗殺▽5月革命 パリ大学で学生と警官が衝突労働者を巻き込みゼネスト▽8月 ソ連軍がチェコ侵入▽10月 文化大革命中の中国で劉少奇国家主席失脚▽1月 日本では東大医学部無期限ストに始まる東大紛争は全学無期限スト・封鎖・乱闘へと拡大する 12月29日 文部省は1969年度の東大入試中止を発表▽先進国の学生を中心に自国の権力機構に先頭に立って抵抗する若者が同時多発的に反乱▽大学が大衆化・マスプロ教育化した不満 世代間の溝 完成された社会での閉塞感 反ベトナム戦争等々の1968年「第一希望は国立某一期校理学部サッカー部へ入部 卒業後は高校の数学の先生を目指す一浪の受験生」から「国立二期校名工大第1部土木工学科新入生」になる入試は1969年3月23日会場は予備校河合塾千種校▽募集定員60名中57名が4月9日?新調の学生服を纏い晴れの入学式に臨席▽一生忘れ難く今も鮮明に蘇る情景は式終了後C2教室?へ案内された「新入生」は木製の机と連結する椅子に着席し各人緊張の面持ちで待つこと暫し 眼光鋭く威厳ある小柄な方が教壇にたたれ祝いの挨拶も早々に「俺が有名な岡林稔である!旺文社の蛍雪時代にも載っている!応用力学I(応力 オウリキ)の単位取得で君たちは3年生への進級時必ず半分は留年させるから今から覚悟しておけ!土木工学科の応力は超必須科目である!留年したからと落胆することはないぞ!成績は可でも無事卒業して一歩実社会に出れば旧七帝大の連中との競争になる!その時には負けないだけの実力を身につけて卒業させてやるから安心しろ!…」大きな声でもない 少々甲高いが腹から搾り出すような聴き取り易い平易な口調の自己紹介です 傲慢さは一切感じません 教育研究を通して生き方そのものに自信・矜持・迫力に満ちた教授の威風堂々とした言動です▽「濫觴」(はじめが大事)を諭され「人生の大きな転機かなあ」と耳順を迎えてしみじみと思います▽入学者57名 愛知13(内名古屋9) 大阪5 京都・岡山4 岐阜・滋賀・東京3 静岡・福井・富山・兵庫・奈良・愛媛2 三重・石川・長野・和歌山・広島・香川・山口・大分・神奈川・沖縄1 以上23出身都府県▽迷いなくサッカー部へ入部▽方言・訛りが飛交う 名古屋弁の私は初めて個性ある異文化に接し当初は違和感を持ちます▽6月 工大祭後から5月病です「横浜市大文理学部合格」辞退を悔み

勉学意欲は失せ到頭1年生の後期頃クラブを退部▽2年生前期終了後「留年して再起を図る」決意を親父に告げると寂しそうな顔をしたが「お前が決めたのなら」と了解する▽留年後サッカー部に再入部し卒業まで続ける▽留年したお陰で岡林教授の応力Iの講義・演習(長谷部宣男教授 当時は助手)では厳しく鍛えていただき「知ると 識るとは違う!うわべだけの知ではなく 身体化された識るこそがものになる!」と諭される▽応力外の履修科目もサボらず「興味の沸かない科目は自分の所為!と思える」我になる▽応用力学(荒井利一郎著 技報堂出版)の「はしがき」参照…大志をいなく若ものたちにとって、はたち前後の4~5年は、それはたいせつな4~5年であり、大きいイメージーションのわき上がる時代である。私はそうした若いエネルギーをこそ、土木応用力学に引き込み、ひいては土木の世界に強く誘い込みたいために、…▽履修科目関連・社会情勢等の新聞記事の切抜を大学図書館の活用をしたり 果敢に取組む意欲的な「我」は 3年生進級の頃には国家公務試験と大学院進学を志望し準備に入る▽4年生進級直前の1973年3月コンクリート工学の吉田弥智教授を訪ね大学院進学志望を述べると即座に「何がやりたいのだ?」「構造かコンクリート!」「どこを受けるのだ?」「京大と名工大を!」「東大を受けたら如何だ!」「東大は留年してない成績優秀な学生と決まっています!」「関係ないぞ!」▽東大院の受験決意を進路担当教授に告げるも啞然とされた様子です▽急遽 東大受験に切替え先輩Kさん 入学同期のTさんの助言を頂き半年後 大学院合格通知に歓喜する9月下旬 爾来 肝に銘じていることは「いまの我あるは努努 自力とすることなかれ!身近なまたは逢い見えない恩師先輩諸兄の多大な業績が大きな力を我に与えたもうた!驕奢することなかれ!」です▽匹夫の勇か?凡夫を「その気にさせた」恩師との邂逅は「宿業・自業」か?実社会での数々の大失敗も「禍福は糾える縄の如し」「寄らば大樹? 否 寄らば大志!」「我思う故に我あり!」思わざることは 決して成らない!!

感謝する される喜び ころろ 潤
ご入学おめでとうございます

プロジェクト

PROJECT

大型設備基盤センターからのご案内2

大型設備基盤センター センター長 曾我 哲夫 (E57)

1. はじめに

先回のごきそ平成22年9-10月号に大型設備基盤センター所有の機器分析装置の学外利用設備を会員の皆様に紹介させていただきました。今回もその第二段として新たに導入された装置の概要を紹介させていただきます。これらの装置は、昨年度の当センターへの政府補正予算、学内補正予算、学長裁量経費、教育研究高度化のための支援体制整備事業経費により、設備導入されたものです。設備はすべて高い性能を有しており、学外の皆様にもご満足頂けるものと思います。今回は、その内で顕微鏡関連の次の4つの設備について紹介させていただきます。詳細は当センターのホームページ (<http://www.iac.nitech.ac.jp>)をご覧ください。大学のホームページから入ることができます。

2. 導入装置の概要紹介

内部起電力像測定装置 (走査電子顕微鏡)

設備取扱責任者 横田 壮司
(しくみ領域 助教)

本センターには、組成分析及び高分解能・高倍率観察用の電界放出型の走査型電子顕微鏡が稼働中ですが、本システムはそれとは異なり、内部起電力像を見る事に特化した装置です。固体中の欠陥や形状に起因した起電力像を可視化することにより、電気特性向上を目的とした材料設計が可能となります。図1に本装置の外観図と観察結果を示すとともに以下に本装置の特徴に関して紹介いたします。

本システムは、一般的なSEM観察で行われるような微細組織観察及び組成分析等の機能と

は一線を画し、電子線照射によって発生した内部電圧を像として観察するものです。簡単な測定原理を図2に示します。試料に照射された一次電子は、背面散乱電子として試料から脱出する電子と試料内部に侵入する電子に分けられます。一方試料からは、二次電子、オージェ電子等が放出されます。試料に侵入する電流 I_{in} と二次電子、オージェ電子として放出される電流

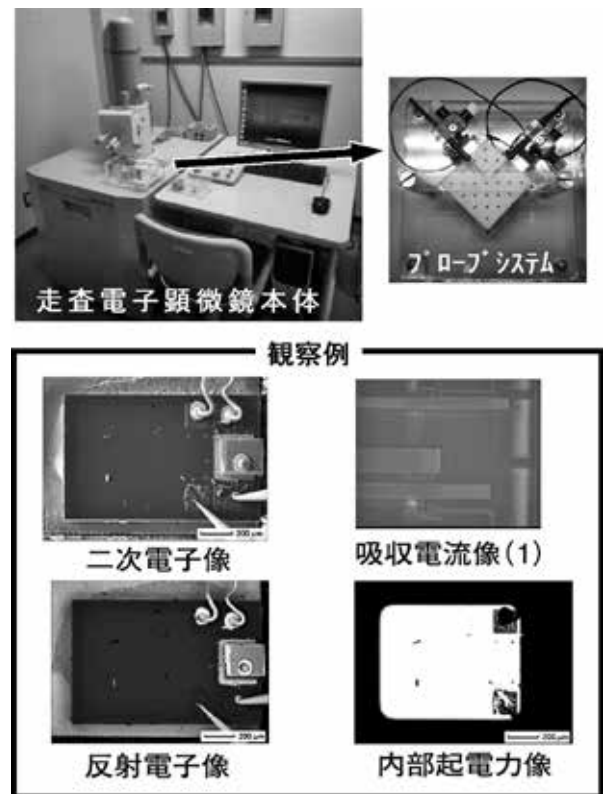


図1. 内部起電力像測定装置の外観及び観察例

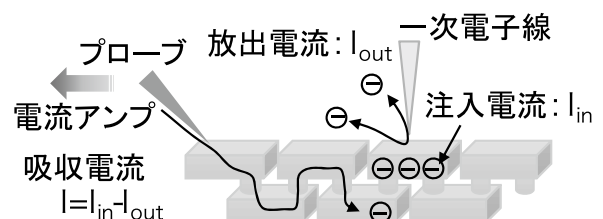


図2. 吸収電流発生原理

I_{out} に差が生じると、この差を相殺するため、 $I = I_{in} - I_{out}$ の吸収電流が発生します。この吸収電流を検出し、一次電子の走査に同期させて階調表示することによって吸収電流像が取得できます。これにより、セラミックスコンデンサ内の欠陥などの有無だけでなく、例えば多層配線を有する実際の半導体デバイスなどの層ごとの配線不良などを調べる事が出来ます。

本システムは通常のSEMとしても使用可能です。インターフェイスも簡便であり、極めて短時間で使用方法を習得できます。簡便な観察を行いたい方など積極的に使用していただけると幸いです。

本装置（JEOL J SM-6510）は、平成21年度 国立大学法人 設備整備補助金により導入され、平成22年4月より稼働を開始しております。

集束イオンビーム試料作製装置

設備取扱責任者 横田 壮司
(しくみ領域 助教)

本センターには、新たに導入された透過型電子顕微鏡（JEM-2100F）を加えて4台の電子顕微鏡が稼働しています。本システムはその透過型電子顕微鏡用の薄膜試料作製用に導入されたものです。図3に本装置（JEOL製 EM-9320FIB）の外観図と加工結果を示すとともに以下に本装置の特徴に関して紹介いたします。

本システムでは、像観察～加工まで全て windows PC上で全て行うことができます。試料を観察したのち、加工位置の決定後、矩形・ライン・スポットなどの加工形状をマウス操作で決定し、適切なビーム径とドーズ量で加工をスタートさせるといった極めて簡便な操作で行うことができます。透過型電子顕微鏡用の観察試料作製においても、荒加工までは自動で行うことができます。また、加工と共に観察装置としても有効です。Secondary Ion Microscopy

(SIM) 像は SEM 像と違った像形成を示します。特に結晶方位の違いによるチャンネリングコントラストが顕著に観察できるため、金属組織やメッキ膜の評価に有効です。このようにSEMと併用することにより様々な観察結果が得られることが期待できます。是非、皆様の活発なご利用をお願い申し上げます。

本装置は、平成21年度 国立大学法人 設備整備補助金により導入され、平成22年4月より稼働を開始しております。



図3. 薄膜試料作成装置の概観及び加工例

薄膜結晶用X線回折装置

設備取扱責任者 市村 正也
(つくり領域 教授)

本センター X 線部門では X 線回折装置 RINT-2000が使用されていましたが、この装置は粉末・多結晶試料用の装置であり、単結晶試

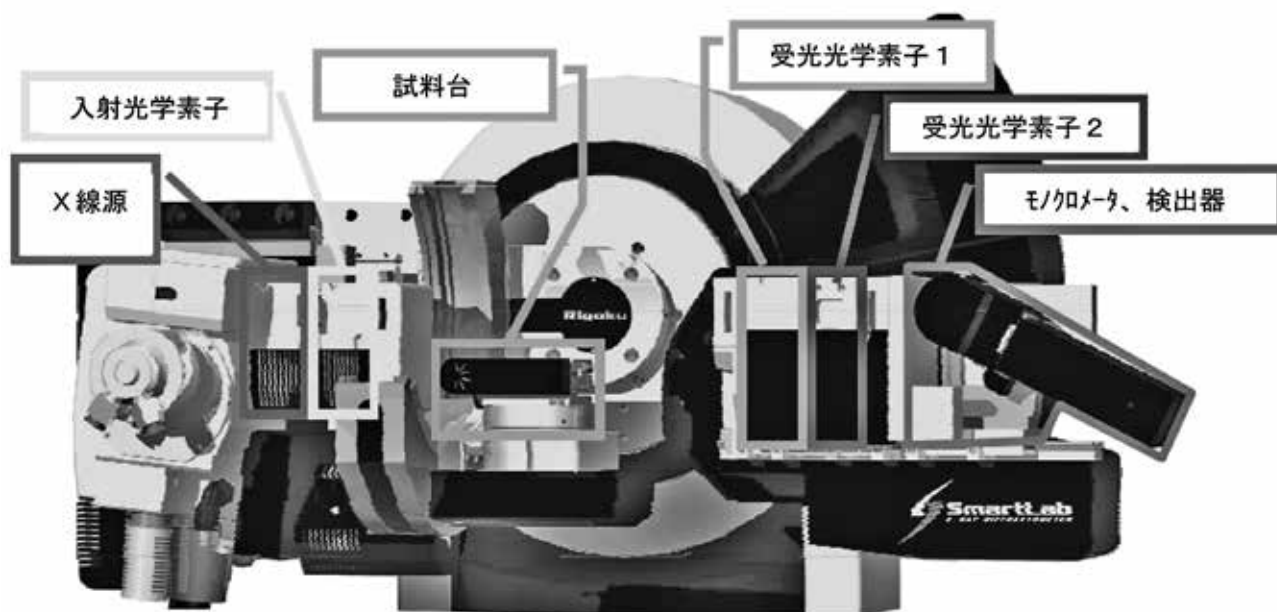


図4. 装置の概観

料を対象とした種々の測定の機能は持っていませんでした。また分解能や測定の迅速さ（あるいはS/N比）という点でも、決して優れているとはいえませんでした。そこで、単結晶試料の評価を可能にし、また粉末・多結晶試料についても測定精度の向上と測定時間の短縮を図るため、以下で述べる装置SmartLab（リガク製）を導入しました。

本装置はX線回折装置、データ処理装置、冷却水送水装置から構成されており、高い精度でゴニオメータを制御する機構、高輝度かつ高分解能の光学系、光学系を簡単に交換できる機能、高速半導体検出器を有しています。また安全に使用できるインターロック機構と防X線シールドを有しています。2 θ - θ 測定、ロックングカーブ測定、逆格子空間マッピング、極点測定、反射率測定が可能です。

本装置は、平成21年度の予算により導入（22号館401号室X線部門に設置）され、平成22年4月より稼働を開始しています。

3. おわりに

昨年度大型設備基盤センターに導入された

設備について紹介させて頂きました。これらの設備は学内の先生方だけでなく学外の企業の皆さんにも利用頂けるようになっています。企業における研究開発で是非ご利用を検討頂けますようよろしくお願い致します。利用方法は当センターのホームページ<http://www.iac.nitech.ac.jp/>をご覧くださいければ幸いです。

現在、当センターでは文部科学省の「先端研究施設共用促進事業」（<http://hyomen.irc.nitech.ac.jp/>）を実施し、当センターの表面分析装置において、外部利用者の利用相談から分析評価まで専門の技術者が対応できる体制を整備しています。引き続きご利用頂けます。今後とも当センターをよろしくお願い致します。

参考文献

曾我哲夫：大型設備基盤センターからのご案内、ごきそ9-10月号, pp.2-6, 2010年。

ごきそ ホットライン

表彰者紹介

平成22年度叙位・叙勲受章者は以下のとおりです。
5月29日の名古屋工業会の総会で、工業会からの表彰を行います。

「瑞宝小綬章」 (科学技術研究功労)

宮島 博



【学 歴】

昭和37年 3月 名古屋工業大学工業化学科卒業

【職 歴】

昭和42年 4月 科学技術庁航空宇宙研究所研究員
昭和49年 9月 同 角田支所推進薬研究室長
昭和53年 4月 同 ロケット高空性能研究室長
平成4年 4月 角田宇宙推進研究センター長
平成12年 4月 宇宙開発事業団招聘研究員
平成17年 4月 宇宙航空研究開発機構客員(非常勤)

前に明確な答を出さなかった問題は、かならず追いかけて来るものです。

「旭日重光章」 (産業振興功労)

鈴木 泰信



【学 歴】

昭和34年 3月 名古屋工業大学金属工学科卒業

【職 歴】

昭和34年 4月 東洋ベアリング製造(現NTN) 入社
平成3年 6月 取締役役に就任
平成6年 4月 常務取締役に就任
平成9年 6月 専務取締役に就任
平成11年 6月 代表取締役副社長に就任
平成13年11月 代表取締役社長に就任
平成19年 6月 代表取締役会長に就任
平成20年12月 代表取締役会長(兼)社長に就任
平成21年 6月 代表取締役会長に就任、現在に至る

この度の旭日重光章受章につきましては、皆様方の多年にわたるご指導とご支援の賜物と深く感謝いたしております。今後共、名古屋工業大学の発展に尽力してまいりますので、変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

「旭日中綬章」 (電気事業功労)

佐藤 太英



【学 歴】

昭和32年 3月 名古屋工業大学電気工学科卒業

【職 歴】

昭和32年 4月 中部電力株式会社入社
昭和62年 6月 同 取締役工務部長配電部管掌
平成4年 6月 同 常務取締役制御通信部系統運用部管掌
平成7年 6月 同 代表取締役副社長立地環境本部長
平成11年 6月 同 電力中央研究所理事長
平成21年 6月 同 名誉顧問(現在に至る)

このたびは、はからずも叙勲の榮に浴し、身に余る光栄と心から厚く御礼申し上げます。これもひとえに電力業界はじめ、関係各方面の諸先輩や仲間達の皆様の多年にわたる温かいご指導とお力添えの賜物であり、さらには支えてくれた家族のおかげと、改めて厚く感謝御礼申し上げます。

今後とも微力ではありますが、少しでも社会のお役に立てばと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



「瑞宝中綬章」
(教育研究功勞)

船橋 鉦一



【学 歴】

昭和28年3月 名古屋工業大学工学部機械工学科卒業

【職 歴】

昭和28年4月 通商産業省工業技術院名古屋工業技術試験所入省

昭和33年5月 名古屋工業大学短期大学部助手
機械工学科

昭和35年4月 名古屋工業大学 工学部講師

昭和39年6月 同 助教授

昭和49年1月 同 教授

平成6年3月 定年退官

平成6年4月 名古屋工業大学名誉教授

このたびの叙勲は、多くの方々のご指導ご鞭撻の賜物と感謝しております。

母校名古屋工業大学の益々の発展と社団法人名古屋工業会会員の好誼が一層膨らむことを願っております。

「瑞宝中綬章」
(教育研究功勞)

吉田 昭二



【学 歴】

昭和23年3月 愛知県立工業専門学校電気科卒業

【職 歴】

昭和23年4月 通信省名古屋通信局電波部

昭和30年10月 郵政省電波研究所

昭和47年4月 愛知工業大学教授 工学博士(東京大学)

昭和51年4月 同 学生部長 第二部主事併任

平成11年4月 同 情報電子専門学校長兼務

平成14年3月 同 退職 愛知工業大学名誉教授

なお、上記の間、電波、通信、放送、関係各種調査研究委員会委員長、部会長、主査を歴任、それにより電波の日表彰、電波障害防止業績表彰を受く。

「瑞宝小綬章」
(消防功勞)

山本 富昭



【学 歴】

昭和23年3月 愛知県立工業専門学校電気科卒業

【職 歴】

昭和23年8月 名古屋市消防局就職 消防士拝命

昭和49年4月 消防局予防部予防課長 消防司令長

昭和52年11月 名東消防署長 消防司令長

昭和54年11月 東消防署長 消防監

昭和55年11月 北消防署長 消防監

昭和56年11月 消防学校長 消防正監

昭和58年4月 消防局予防部長 消防正監

昭和60年3月 名古屋市消防局定年退職

昭和60年3月 消防庁長官功勞章を受章

昭和60年7月 (株)電気文化会館 取締役就任

平成3年6月 (株)電気文化会館 定年退職

平成3年8月 セコム(株)中部本部 顧問就任

平成12年4月 セコム(株)中部本部 定年退職

「紺綬褒章」

杉山 道生



【学 歴】

昭和26年3月 愛知県立工業専門学校金属科卒業

【職 歴】

昭和49年4月 株式会社日本ヘイズ設立

代表取締役社長

平成17年3月 取締役会長、特別顧問を歴任し引退

現在 JICA愛知県青年海外協力隊を支援する会 会長

敗戦直後の学窓は、恵まれたものでは無かった。しかし私は素晴らしい先生に恵まれ、良き同窓生にも会った。社会に出て優れた先輩、後輩に引立てられ、そして充実した仕事を成し遂げた。それも名工大があつてのこと。感謝の気持ちを表したく大学に「日本画500号」を寄附したところ、大学の取計らいによって授賞を受け望外の榮譽を感じています。

〔叙位叙勲受章者は名古屋工業会で表彰しますので、事務局まで連絡いただきますようお願いします〕

ごきそ ホットライン

平成22年度 名古屋工業会奨学金の授与

名古屋工業会から母校の在学生に対する奨学金の授与式が12月3日に行われ、日本人学生10名、留学生5名の計15名に篠田理事長から奨学金が授与された。

授与者を代表して物質工学専攻の高原丈爾さんから謝辞が述べられた。

授与者

大学院（博士後期課程）

情報工学専攻1年 石 晶晶

大学院（博士前期課程）

物質工学専攻2年 高原丈爾

情報工学専攻2年 辻 拓朗

産業戦略工学専攻2年 姜 麗君

物質工学専攻1年 岩田朗宏、
鈴木貴行、張建

機能工学専攻1年 笹川貴史

社会工学専攻1年 征矢 悠、
福井さゆり、格根

未来材料創成工学専攻1年 MOHSIN AHMED

第一部 情報工学科3年 高橋 淳

生命・物質工学科1年 伊藤嵩人

第二部 電気情報工学科5年 箕田寛志



篠田理事長から授与

奨学金を授与された皆さん（次ページ掲載分を除く）



高原丈爾



辻 拓朗



岩田朗宏



鈴木貴行



福井さゆり



高橋 淳



伊藤嵩人



石 晶晶



姜 麗君



MOHSIN AHMED



張 建

博士前期課程 機能工学専攻1年 笹川貴史

先日はこのような貴重な奨学金を寄与下さいましてまことにありがとうございます。ありがとうございました。

私は大学院でのさらなる研究及び就職活動において、後悔のない取り組みをしたいと考えています。現在私はアルバイトを通して生活費をまかなっています。しかしながらさらに就職活動を始めるにあたって、アルバイトの両立は時間的にも体力的にも厳しく金銭面で問題を抱えておりました。

そこで今回貴工業会の奨学金を頂くことで、余裕を持って活動でき、大変嬉しく思います。今後この奨学金を有意義に使わせて頂き、自分の目標に向かって努力したいと考えております。

また卒業後、新たな人生の一步を踏み出しますが、こうして私を支えて下さった皆様への感謝を忘れず、名古屋工業会奨学金を受けた者として恥ずかしくないよう、より一層精進して参りたいと存じます。

最後になりましたが、貴工業会のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。



博士前期課程 社会工学専攻1年 征矢 悠

この度は名古屋工業会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭の経済状況は大変厳しいものがあり、研究活動や就職活動も忙しい時期にあるため、アルバイトをする余裕もなく、学費や生活費を負担することが困難な状況にありました。そのため、貴奨学生に採用していただいたことは、大変有難く大きな支えとなります。頂いた奨学金は、主に学費として大切に使用させていただく予定です。

最後になりましたが、名古屋工業会の皆様をはじめ、多くの関係者の方々には本当に感謝しています。こうして大学生活を送ることが出来るのは、家族や友人、そしてご支援下さる皆様の支えがあってこそだと強く感じております。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れずに、ご期待に添えるようより一層研究に励んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。



博士前期課程 社会工学専攻1年 格 根

私は中国の留学生です。日本に来て二年になり、この二年の間経済的に厳しく、学費と生活費を負担することが困難でした。私の事情を知っている研究室の先輩から、名古屋工業会奨学金募集の話を知りました。採用されたときはただただ驚くばかりでしたが、挑戦して良かったと思えました。奨学金をもらって心から感謝しております。賜りました奨学金は、主に学費にあてさせていただく予定です。奨学生としての自覚をもって、研究に励んでいく決意です。日本で就職して日本と中国の良い交流のために頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



第二部 電気情報工学科5年 箕田寛志

この度は奨学金を授与していただきありがとうございます。私の家は経済的に困難なため、勉学に費やしたい時間も余儀なくアルバイトに費やされてしまいます。学生生活による色々な支出は私生活に影響を及ぼし生活環境に不便が生じるため、このような奨学金の制度があると経済的に困難な学生にとっては心身ともに本当に助かります。今回の奨学金の授与は私生活の向上に繋がるだけでなく、勉学に対するモチベーションの向上にも繋がっており、大変有意義なものであると感じております。

頂いた奨学金は、その意に沿って私の学問追及の糧となるよう有意義に使わせていただきます。また、奨学金を頂いた者として恥ずかしくないよう大学院進学後も実りの多い学生生活へ向かって邁進していきます。



ごきそ ホットライン

名古屋工業会からの 教官研究助成金贈呈式

今年度の名古屋工業会からの教官研究助成金「学長特別研究助成」の贈呈式が、2月14日(月)に名古屋工業会の二杵常務理事及び大学の前田理事が同席して行われ、高橋学長から以下の4名に対して贈呈された。

この助成金は、名古屋工業会が毎年大学支援の一環として、教官に対する研究費を助成しているもので、学長の裁量により贈呈者を決定している。

贈呈者

川島慶子（おもひ領域 准教授）啓豪の18世紀から見直すジェンダーと科学の課題

川橋範子（しくみ領域 准教授）ジェンダー宗教学による女性の宗教的主体の考察

増田理子（しくみ領域 准教授）河川の自然再生事業における生物相回復の現状と課題に関する研究

是澤紀子（ながれ領域 准教授）歴史的建造物と周辺環境の一体的な景観保全に関する研究



左から増田氏、前田理事、川橋氏、高橋学長、
二杵工業会常務理事、川島氏



クラブ紹介

No.17 マジックサークル部

倉橋 英司（大学院・物質工学専攻2年）

私達マジックサークルNITはマジック、つまり「手品」をやっている部活であり現在11名で活動しています。普段の活動内容としては大学会館2階にある和室に週2回お昼から集まり、主にテーブルマジックの練習をしています。

マジックといっても様々です。お客さんとしちゃべりながら目の前でトランプやコインなどを使いながら行うクロースアップマジック（テーブルマジック）、比較的小規模な室内で行うパーティー系のサロンマジック（フロアマジック）、お祭りなどの屋外ステージでシルクやステッキ、リングなどを使ったステージマジックなどです。部員はそれぞれやりたいマジックを決め、試行錯誤を繰り返し、技術の習得に励んでいます。

とはいえ、ただただ練習に明け暮れているだけではありません。もちろん新入生歓迎会や忘年会、新年会などのイベントも行っています。これらはマジックの発表会もかねているので日ごろの練習の成果を発揮することが出来ます。また、練習の成果を発揮できるのはサークル内の発表だけではありません。



子供会でのステージマジック



工大祭お疲れ様でした！

毎年行われる工大祭はもちろん、子供会などの学外の行事にもボランティア活動として参加し、マジックを披露することで地域社会に貢献し、名工大の一員としての自覚を見につけています。

また、1年に数回ほどOBの方々や他大学・他団体との交流も行っており、楽しみながら活動を行っています。

マジックは「手先が器用じゃないとできないんじゃないの？」とよく言われますが、そんなことはありません。マジックって、実は自転車に乗るようなものです（笑）。最初からうまくできる人はそうそういませんが、多くのマジックは練習さえすればできるようになります。みなさんも練習してお知り合いの方を驚かせてみてはいかがでしょうか？

最後に、私達はこれからも地道に精進し、楽しみつつ楽しませることが出来るような部活にしていきたいと思っていますので応援のほどよろしくお願いします。

クラブ紹介

No.18 航空部 活動紹介

春田 章吾（機械工学科4年）

読者の方の中で「航空部」と聞いてどんな活動を行う部活なのか分かる方は少ないでしょう。大抵の人には「ああ、琵琶湖で飛ばすやつ」といわれますが違います。そこで今回は我が部の活動内容について紹介します。

航空部とはグライダーで空を飛ぶことを目的とした部活動です。

グライダーとはエンジンのついていない飛行機的一种で、風揚げの要領で機体を引っ張って離陸します。エンジンがついていないので機体はゆっくりと降下していき、何もなければ5分から10分でフライトは終わります。しかし、上手く上昇気流に乗ると一時間以上飛び続けることも可能です。世界記録では最長距離で3000kmを越えるフライトが記録されています。

そのグライダーに乗るために、私たちは二か月に一回ほどのペースで木曽川河川敷の合宿所に泊り込みで飛行訓練を行っています。東海・関西の大学の航空部は基本的にこの木曽川の滑空場で活動をしています。そのため合宿は他大学と合同ですることになり、結構な人数が集まります。他大学との交流ができることもこの部の魅力のひとつです。

さて飛行機を飛ばすというのは簡単なことではありません。飛行にはどうしても危険が伴い



OB会にて

ます。その危険を減らし、安全に活動を行うために地上では部員がそれぞれ仕事をしています。ピストと呼ばれる総責任者のもとで機体を組み立て、滑走路や機体の安全を確認め、機体を出発させます。機体が帰ってきたら機体を離陸地点まで運びまた出発準備をします。忙しいときは5分間隔ほどでこの作業をし続けます。

そうして作業を続けていると、ついにピストから搭乗の許可が下ります。機体に取り込み、教官に安全の報告をして離陸します。

初めて私が飛んだ時の気持ちは忘れられません。離陸時はガタガタ揺れて不安でしたがそれは一瞬で、気づけば空の上でした。自分の夢であった「空を飛ぶ」ということが現実になったというのがうれしくて仕方ありませんでした。目の前の操縦桿を動かすと同時に機体が反応してくれる。ゲームでしかできないと思っていたことが現実になった瞬間でした。しかしその夢のような時間も10分ほどで終了です。とても楽しかったという気持ちとともに、もっと長く、自由に飛べるようになっていと思うようになりました。

以上が航空部の基本的な活動です。興味をもたれた方はどうぞお気軽に航空部へお越しください。今後とも航空部をよろしくお願いします。



使用している機体

情報

ネットワーク

平成22年度 名工会東京支部総会の報告

今年度の東京支部総会は、平成22年11月11日(日)にKKRホテル東京10階の孔雀の間で開催された。今年は高橋新学長をお迎えし、新たな雰囲気の中の支部総会になった。最初に平成22年度からの新支部長 張田氏(M43)より開会の挨拶があり、名工会の高いポテンシャルを活かし、様々の課題に取り組むチーム活動の提案があった。続いて、高橋新学長より名工大の現況報告があり、国内学生はもとよりアジアを中心とした海外からの留学生も多数を数える状況にあること、就職氷河期にあっても名工大出身の学生の就職状況が好調であること、国立大学法人に移行後の大学の動き等について話があった。最後に名工会の篠田理事長(M33)より祝辞を頂いた。主に、名工会の法人格を「一般社団」とし、定款の作成と諸規定の見直しを行っており、平成24年6月の許可申請に向け準備中であること、定款の中で主に「大学の支援」を目的に謳うこと等、基本になることを話された。

また、北村副学長、辻教授、荒木教授、渡辺教授、二枚名工会常務のご来賓を頂き総勢145名が参加する賑やかな総会となった。

この他、名工会東京支部の活動報告が簡潔に報告された後、昨年に引き続き加藤氏(E39)率いる名工大管弦楽団OBによる弦楽四重奏楽団の登場となった。昨年に引き続き団友としてお二人の女性ヴィオリニストの応援も頂いた。耳に心地よい名曲が演奏された後、藤原氏(K31)の音頭で乾杯をし、例年通り各単科会グループのテーブル毎に和やかな懇親会へと進んだ。懇親会の途中、途中で弦楽四重奏楽団により名曲の数々が奏でられ、にぎやかな歓談の中、グラス片手に曲に聞き入る人垣が出来ていた。最後は名工大の校歌が合唱団OBと管弦楽団の生演奏のもと高らかに歌われ、石川氏(C33)の音頭のもと万歳三唱で会を閉じた。今回の支部総会も昨年同様、最初から最後まで済木氏(D35)の名司会のもとで滞りなく終了した。

記：三好修(A40)



張田新支部長の挨拶



合唱団OBと校歌の斉唱



篠田理事長の挨拶



管弦楽団OBによる弦楽四重奏

大阪支部 歴史探訪の会報告 「坂本の里坊散策と・琵琶湖博物館の見学」

平成22年11月27日（土）当日の天気は快晴で、絶好の歴史探訪の日となりました。午前10時に京阪石山坂本線「坂本駅」に奥様3名も含めて総勢21名が集合し、大津市観光協会のガイドの説明をまずお聞きし、坂本の町の歴史についてレクチャーを受けました。

坂本の里坊とは、比叡山で修行されたお坊さんが歳を取られたので、許可を受けて暖かい平地に住まいを移されたのが始まりです。江戸時代は100近く在ったのが、現在は50近くになっております。先ず初めにその中で別格であります「滋賀院門跡」において寺の職員よりレクチャーを受け、各部屋の拝観をした後小堀遠州作の庭園を拝観しました。紅葉の美しさで有名な慈眼大師・南光坊天海を祭る「慈眼堂」を皮切りに、日光東照宮のモデルとなった日吉東照宮を参拝しました。内陣の中に入り、本家では見ることのできない極彩色の絵を拝観しました。紅葉の道を歩き、「日吉大社」の国宝の西本宮、そして平安時代の僧兵の強訴で有名な神輿を展示してある収蔵庫を見学いたしました。信長の延暦寺焼き討ちの際に、この神輿もお寺、神社も里坊一帯総てが灰燼に帰し、その後に再建されましたが、唯一残った当時の穴太衆積み石垣に紅葉が映え、隠れた紅葉の名所を堪能致しました。昼餉の楽しみとして280年の歴史を持つ「鶴喜そば」を食しましたが、当日は大変な賑わいでゆっくりとできず、時間が迫る中、次の目的地の「琵琶湖博物館」へと慌しく電車で移動しました。当館は琵琶湖の誕生から人とのかわり、湖に暮らす人々の生活をジオラマ風に展示がしてあり、なかなか興味が尽きない内容でした。最後に目玉である、淡水魚の展示ブースにある水のトンネルを潜り、チョウザメが水槽を泳ぐ姿の大きさにびっくりしました。今回は少し場所の移動に時間を取り過ぎたかなという反省をしながら、現地解散となりました。三木敏裕（E48）



第84回名工大ごきそ会報告

第84回名工大ごきそ会は、ジャック・ニクラウスの設計で知られておりますセントクリークGCで開催致しました。噂にたがわず屈指のむつかしさをそなえた上に、攻撃性のあるゴルフ場であり、会員の方々には、久しぶりにゴルフの難しさ、奥深さを感じられたかと思います。会員の中には、再度挑戦したいとゆう声もあり、機会があれば、これからも開催したいと思えます。スタート時には、若干寒さを感じましたが、日中は汗ばむ程の快晴となり、絶好のゴルフ日和となりました。参加された18名の方々は、悪戦苦闘をしながらも、楽しいゴルフを満喫されたかと思います。

競技結果は、ベテランの沖辻寛氏（E26）がグロス99ネット84で優勝、2位は、当クラブ会員の寺西鋼三氏（K33）がネット84、野田昭氏（E37）がネット85で3位となられ、そして栄えあるBBは、安田秀樹氏（D28）が獲得されました。

競技終了後、懇親会をいたしました。やはりプレー談義で花が咲き、会員の方々にはいかにこのコースが戦略性に飛んでるか、再認識をされたかと思われます。続けて行われた表彰式も和気あいあいの中で終わりました。今回は新しく入会されました平岡雄偉氏（A39）の初参加があり、新しい会員が、序々に増えてきており、今後も会員誘致に努力していきたいと思えます。そして次回は、来年3月に春日井CCでの開催を約して解散致しました。

記：柴田 作（A42）



第18回ごきそ会展（名古屋工業大学OB絵画展）2010開催

本学卒業の絵画を愛好する仲間が集まり毎年絵画展を開催しております、今年も第18回を迎え10月26日(火)から31日(日)まで名古屋の伏見にある電気文化会館5階の東ギャラリーで開催いたしました。大雨と台風の接近情報など悪条件が重なりましたが、本学関係者始め900名近くの多数の方のご来場をいただき好評の中で終了することが出来ました。会員数は現在30名、今年の出展者は昨年と同数の22名で、作品点数は若干減り73点となりましたが、130号をはじめ30号以上の大作が増え、作品画材も油彩、水彩、日本画、パステルに木炭画も加わり多彩になり、ご高覧いただいた皆様から大変高い評価をいただきました。又、武藤元学長には92歳のご高齢にもかかわらずF12号の油彩画「恵那の新緑」をご出品いただきました、会員の私たちにとって大変心強い存在です。

本紙に掲載いただいてから各地からのご連絡等もいただき大変うれしく思っております。これからも充実した絵画展にし、本学のPRにつなげればと強く感じております。

なお、この会を存続していくために絵画を愛好される皆様（特に若い方）のご入会を期待しております。ご入会希望者や絵を描いている方の情報がありましたら事務局までご一報くだされば幸いです。

次回は平成23年10月18日(火)から23日(日)迄同じ場所の開催予定です、ご高覧いただきますようお願い致します。

記：福田一豊（A36）

今回の出展者名

武藤 三郎（元学長）	加藤 邦彦（K28）
日比野正憲（E28）	梶田 英夫（A29）
富田憲次郎（A29）	加藤 眞昭（A31）
神谷 義夫（A31）	栢本 良三（A31）
早川 茂次（A33）	本田 暎幸（D38）
有木 喬（C34）	清水 昭（A34）
前田 隆（C34）	山田 銑一（K34）
伊藤 禎治（A35）	加藤 桂吾（A35）
栃尾 宗昭（A35）	脇田 芳明（A35）
福田 一豊（A36）	平川 史朗（A38）
松田 清治（K39）	木戸 眞人（A40）

連絡先

中部事務局 福田 一豊

〒465-0053 名古屋市名東区極楽2-184

TEL:052-702-1504 FAX:052-702-0097

E:mail k_fu@d2.dion.ne.jp

関東事務局 加藤 桂吾

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町802-2

大倉山ハイム7-305

TEL/FAX 045-544-5211



会場入口



会場風景

学内ニュース

名工大・名市大合同テクノフェア2010を開催

名古屋工業大学及び名古屋市立大学は、平成22年11月17日に、両大学が日頃の研究成果を一般に公開する『名工大・名市大合同テクノフェア2010』を名古屋市中心企業振興会館で開催した。

「連携・協力に関する基本協定書」を締結した両大学が、昨年度に続き合同で主催し、「地域社会・企業との産学官連携が創造する未来」をメインテーマとし、「地域連携」を新たに加えた8分野（ライフサイエンス、環境・省エネ、ナノ・材料、電気・電子、IT、生産・機械、都市・建築、および地域連携）147件にわたる研究成果ならびに両大学発のベンチャー企業の展示などをブース形式で披露した。また、（財）名古屋産業科学研究所研究部上席研究員、名古屋大学名誉教授毛利佳年雄氏及び愛知製鋼株式会社専務取締役本蔵義信氏の「MIセンサの原理とその商品化 ―携帯電話用電子コンパスの開発―」と題した基調講演、両大学によるシーズ発表会など多彩な行事が併せて行われた。

本フェアには学内外から650名近い参加があった。各ブースでは、両大学の教員や大学院学生の説明に熱心に聞き入る企業等関係者が多く見られ、活発な質疑応答が行われるなど、産学官連携活動として大いに実りあるフェアとなった。（事務局）

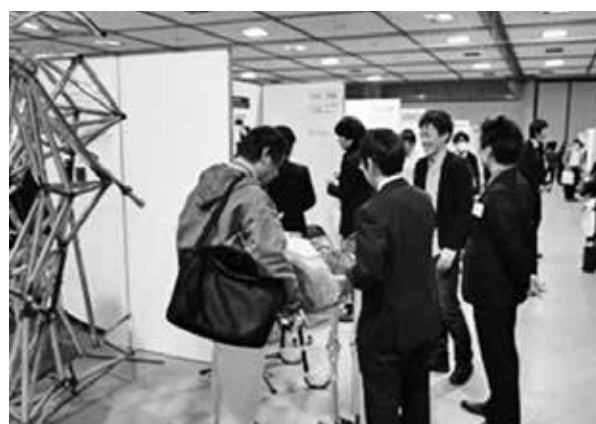


写真3. ブース展示で説明を受ける企業等参加者

名工大、名市大と意見交換会

名古屋工業大学および名古屋市立大学は、平成19年12月に締結した「連携・協力の推進に関する基本協定」についてのレビューを目的とする意見交換会を、平成22年12月20日に開催した。

初めに、名市大の戸荻学長、名工大の高橋学長より挨拶があった後、名市大より両大学の連携・協力の状況報告があった。

引き続き、具体的な事例として、名工大の産学官連携センター川福准教授から、両大学が日ごろの研究成果を一般に公開する「名工大・名市大合同テクノフェア」について説明があり、名市大の薬学研究科林教授から、全国初の薬工融合による新しい教育プログラムである「薬工融合型ナノメディシン創薬」について説明があった。

その後、両大学の参加者により、活発な意見交換が行われ、今後の連携・協力のさらなる進展を図るうえでの有意義な意見交換会となった。（事務局）



写真1. 意見交換会の様子

名工大、マレーシアに同窓会を設立

名古屋工業大学では、卒業生や留学経験者に対する様々な支援を強化するため、海外同窓会の設立に力を入れており、平成22年11月28日（日）にマレーシア（クアラルンプール）に海外同窓会を設立した。これは韓国（ソウル）、中国（上海）、インドネシア（ジャカルタ）に続く4カ国目の海外同窓会である。

第一回名古屋工業大学マレーシア同窓会は、クアラルンプール市内のHotel Nikko Kuala Lumpurにおいて、マレーシア人元留学生14名と高橋実学長、山本幸司国際交流センター長らが参加して開かれた。また来賓として、在マレーシア日本大使館より堀江正彦大使を招いて祝辞を頂き、終始和やかな雰囲気のうちに同窓会の発会が祝われた。

初めに同窓生を代表して、初代会長に就任したアマッド・シュハイミ氏（2010年大学院博士後期課程修了。現マラヤ大学Senior Lecturer）から同窓会の初代役員や規約が紹介され、今後の同窓会運営に関する抱負が述べられた後、高橋学長より同窓会設立の趣旨や名古屋工業大学の現状について説明があった。高橋学長からは、この同窓会が単なるOBの懇親会に留まらず様々な人脈のネットワークのハブとして発展していくことを期待する旨が表明された。

その後、同窓生全員が日本語で自己紹介。学生時代の研究内容や近況を報告した。また名古屋工業大学の最近の様子を収録したDVDが上映され、大学時代の思い出話に花を咲かせていた。

また、今回のマレーシア訪問の機会を利用し、高橋学長を始めとする一行は、協定校であるマレーシア工科大学のザイニ副学長（Vice Chancellor）と来年に開学する予定のマレーシア日本国際工科院（MJIT）についての協議や、マラヤ大学AAJ（日本文化研究館）の日本留学特別コースを視察するなど、日・マレーシア間の交流の促進に向けて精力的に日程をこなして帰国した。（事務局）



写真2. 堀江大使挨拶



写真1. 集合写真



写真3. 学長による趣旨説明

大阪支部 平成23年度「春季歴史探訪の会」開催のお知らせ

(社)名古屋工業会大阪支部 支部長 木越正司 (C44)

事業委員会 委員長 三木敏裕 (E48)

「集いの会」担当 藤原康宏 (E36)、田中禎一 (E36)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

前回の秋季歴史探訪の会は、昨年11月27日(土)に滋賀県坂本の里坊散策と琵琶湖博物館を見学いたしました。当日は天気は快晴で、絶好の歴史探訪の日となりました。

里坊の代表格の「滋賀院門跡」を拝観し、紅葉の美しさで有名な、慈眼大師・南光坊天海を祭る慈眼を皮切りに、日光東照宮のモデルとなった日吉東照宮を参拝しました。有名な紅葉の道を歩き、日吉大社の国宝の西本宮、そして平安時代の僧兵の強訴で有名な神輿を展示してある、収蔵庫を見学いたしました。琵琶湖博物館では、琵琶湖の誕生から、人とのかわり、湖に暮らす人々の生活をジオラマ風に展示がしてあり、なかなか興味が尽きない展示でした。少し離れた場所の見学でしたが、今回の春季歴史探訪の会は、本能寺の変の後、明智光秀と豊臣秀吉の決戦場となった、天王山の古戦場を巡ります。その後アサヒビール大山崎山荘美術館で、美術品を鑑賞して頂き、最後にサントリーのビール工場を訪問いたします。有名な天王山の歴史を探訪していただき、合わせて美術館の絵画、陶芸作品をご鑑賞ください。ぜひとも奮ってご参加ください。

記

1. 日 時：平成23年5月28日 土曜日 午前10時～午後4時

2. 集合場所・時間：JR京都線「山崎」駅 改札口 午前10時

3. 行 程：

午前10時 JR京都線「山崎」駅前……「妙喜庵」「観音寺」「旗立松」「酒解神社」等をガイド付きで見学(約2時間)……天王山にて昼食……「宝積寺」「アサヒビール大山崎山荘美術館」に移動、イヤホーンの解説付きで鑑賞……その後をサントリーのビール工場を訪問……JR京都線「山崎」または 阪急京都線「山崎駅」……午後4時ごろ解散

4. 参 加 費 用：アサヒビール大山崎山荘美術館 入館料 600円

ガイド・イヤホンレンタル等の費用…別途計算します

5. 参加対象・人員：名古屋工業会会員とご家族、ご友人 30名

6. 申し込み締め切り：4月30日(土)

7. 申し込み先：藤原 康宏 (E36) E-mail y-fuji@kcn.ne.jp

① 氏名： ② 勤務先 (OBの場合も記載ください)： ③ 住所：

④ 学科・卒業年次： ⑤ TEL： ⑥ FAX： ⑦ E-mail：

平成23年度 東京支部エクスカーション案内

恒例のエクスカーションの計画を立てましたので奮ってご参加願います。

今回は、群馬県にある碓氷峠の旧信越本線敷き「散策路アプトの道」でのハイキング、峠の釜めしで有名な「おぎのや」での昼食、ユネスコ世界遺産暫定リスト登録の「富岡製糸場」と明治の香りのする施設をバスで巡る小旅行として企画しました。

1. 日 時：平成23年 5月14日（土曜日）雨天決行
2. 集合場所：東京駅 八重洲南口
3. 集合時間：午前 7時50分
4. 募集人員：上限なし
5. 参加会費：4,000円（予定）
6. コース概要（時間は予定）：
東京駅八重洲口出発 08：00～11：00
〈バスにて移動：首都高→関越長野道→松井田・妙義IC→旧国道18号→メガネ橋〉
メガネ橋～碓氷峠の森交流館 11：00～11：50
～アプトの道ハイキングコース～散策（約2km）
雨天の場合「碓氷峠鉄道文化むら」見学に変更
碓氷峠の森交流館～バス移動～おぎのや 11：50～12：00
昼食（おぎのや） 12：00～13：00
〈バスにて移動〉
富岡製糸場 14：00～16：00
〈バスにて移動：富岡IC→関越長野道→首都高〉
東京駅八重洲口到着・解散 19：00
7. 申込み方法：（個別案内は致しません。）
 - ・下記の幹事に、電話、FAXなどでお申込み下さい。
 - ・申込み時に、卒業年次、氏名、連絡先、電話番号をお知らせ願います。
8. 申込み先：

C42	坂井利充	Tel 03-5756-9800	FAX 03-5756-9809
D44	岡本利郎	Tel 03-3226-4701	FAX 03-5360-6856
C47	小林 保	Tel 03-5835-1711	FAX 03-5835-1712
A61	工藤利昭	Tel 03-6229-7299	FAX 03-5561-2327



平成23年度 尾張支部総会のご案内

本年度の支部総会を下記の通り開催いたします。特別講演は木下理事にお願いしました。
皆様多数のご参加をお待ちしています。初参加大歓迎です。

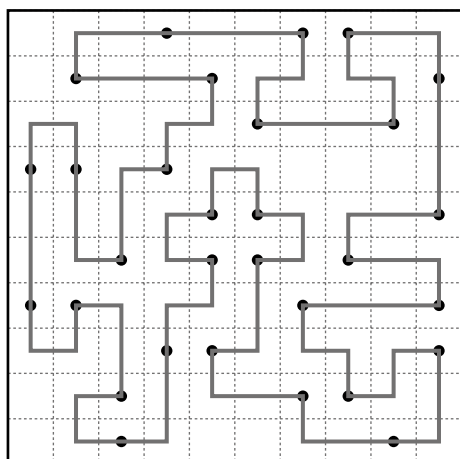
1. 日 時：平成23年4月16日（土）14時～18時30分
2. 場 所：稲沢市民会館 小ホール（稲沢市正明寺3-114 電話0587-24-5111）
3. スケジュール：①支部総会 14:00～14:35
②特別講演 14:40～15:40
『名古屋工業大学の現状について』
講師：名古屋工業大学 理事 木下 隆利 先生（W50、院W52）
③ミニコンサート 15:45～16:45
ソプラノ・長谷川恭子さん、ソプラノ・久米真紀子さん、ピアノ・吉田絵奈さん。
【注】曲目はクラシック。毎年大好評です。
④懇親会 17:00～18:30
特別講演講師、コンサート出演者にも参加していただき歓談。自己PRの時間あり。
4. 参 加 費：正会員 3,000円 会員(会費未納者) 4,000円 初参加会員 2,000円 家族(懇親会参加) 2,000円
ただし、特別講演およびミニコンサートのみご参加の場合は無料です。
5. 申込方法：正会員の皆様には、平成23年2月に文書で案内しました。案内同封の葉書で3月31日
までにお申込み下さい。案内未着の場合は次の所へお問合せください。
〒492-8008 稲沢市赤池町2306 名古屋工業会尾張支部 玉田欽也（W32）
電話：0587-32-0829 ファックス：0587-34-5122

ごきそでパズル

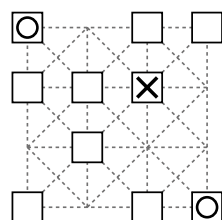
すべての四角に○か×のどちらかを入れてください。

タテ・ヨコ・ナナメの一直線に同じ記号が3つ以上連続して並んではいけません。

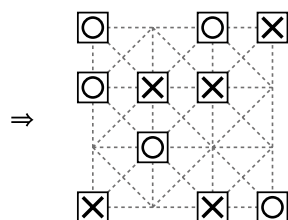
（前回の答え）



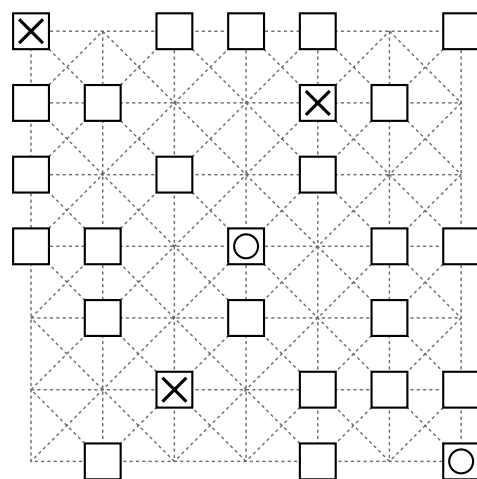
（例題）



（答え）



問題



解答は次号に掲載します。

パズル：稲葉直貴（EJ13）作

名古屋工業大学附属図書館で所蔵する資料をご利用いただけます

名古屋工業大学附属図書館では、本学学生・教職員以外に、学外者の方にも図書館を開放しており、卒業生の方もご利用いただけます。

名古屋工業大学附属図書館に直接来館し、図書館に配架されている資料を閲覧・貸借・複写するという方法でもご利用いただけますが、今回は遠隔地に在住しているなど、来館利用が困難な方へのサービスをご案内します。なお、来館利用についての詳細は、図書館ホームページでご案内しております。

図書館ホームページ アドレス：

<http://www.lib.nitech.ac.jp/>

(図書館ホームページ → 利用案内
→ 利用案内 学外の方へ)

1. 名古屋工業大学資料の探し方

まず、名古屋工業大学に利用したい資料があるのかどうかを探すには、名工大 OPAC (名古屋工業大学蔵書検索システム) を使用します。名工大 OPAC は、インターネット上で公開しています。

名工大 OPAC アドレス：

<http://opac.lib.nitech.ac.jp/opc/>

このシステムを使用すれば、名古屋工業大学に必要な資料があるのかどうか、資料は図書館にあるのか研究室にあるのか、貸出中であるのかどうかを調べることができます (下図<名工大 OPAC 図書所蔵情報の見方>参照)。

もしインターネットを利用できる環境がない場合には、お電話にてお問い合わせください。

2. 図書の郵送貸出または複写物の送付

来館利用が困難な方が、名古屋工業大学附属図書館資料の利用を希望する場合、近隣の県立／市立図書館等の公共図書館を通じて、図書の郵送貸出や複写物の送付を依頼することができます。

- ・送料や複写料など料金負担が必要です。
- ・図書館に配架されている資料が対象になります。研究室に配架されている資料は、ご利用いただけません。

- ・個人からのご依頼は受け付けておりません。必ず公共図書館を通じてお申し込みください。実際に依頼される場合には、近隣の公共図書館にご相談ください。

3. 名古屋工業大学学術機関リポジトリ

名古屋工業大学学術機関リポジトリとは、「名古屋工業大学内で生産された学術情報を電子的に収集・保存・発信するシステム」です。このデータベースでは、名古屋工業大学で書かれた博士論文や紀要論文の他、教員の雑誌投稿論文なども公開されています。名古屋工業大学の研究成果を知ることができますので、一度ご覧いただければと思います。

名古屋工業大学学術機関リポジトリ アドレス：

<http://repo.lib.nitech.ac.jp/>

また、名古屋工業大学で博士学位を取得された方は、ぜひ博士論文のリポジトリへの登録に同意していただきますよう、ご協力お願いいたします。リポジトリ登録の同意に関する詳細は、次のサイトをご覧ください。

名古屋工業大学学術機関リポジトリ

説明サイト アドレス：

<http://www.lib.nitech.ac.jp/repository/index.html>

名古屋工業大学同窓会メールマガジンの「本学図書館の案内」やブログ版図書館報「@Library」でも、図書館所蔵図書が紹介されております。

@Library アドレス：

<http://d.hatenane.jp/nitlib/>

興味のある図書がございましたら、名古屋工業大学附属図書館に来館して、あるいは今回ご案内した郵送貸出サービスにより、ぜひご利用ください。

名古屋工業大学附属図書館 お問合せ先：

TEL：052-735-5100

FAX：052-735-5102

e-mail：etsuran1@lib.nitech.ac.jp

<名工大 OPAC 図書所蔵情報の見方>

所蔵情報

所在	巻冊次	549.81P 28
	貸出状況 / 注記	
図書館(図書開架)		
	禁帯出 / CD/DVD	
研究室		549.81P 28
	研究室所在	

「貸出中：返却期限」、
「禁帯出 (貸出できません)」、
付録情報などが表示されます

「図書館〇〇」は図書館配架、
「研究室」は研究室配架です

NDP × Tech of NIT vol.1 non drop mug

水滴のつかないマグカップ

名工大の技術と
NDPによる
コラボ名工大グッズ
第1弾

お問い合わせは、

052-731-6061

／名工大生協



<http://nit-design-project.web.nitech.ac.jp/>

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる組組みの書籍・表組みの頁物も得意分野です。

印刷

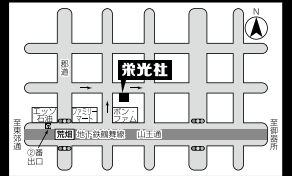
カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通常オフセット印刷に適合しないWindowsデータの出カノハワもありますのでご相談ください。

製本

目次・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいたいとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

総合印刷の 有限会社 栄光社

〒466-0014 名古屋市中区東郷町一丁目42番地
TEL (052) 741-7701
FAX (052) 741-7703
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~eik/>
E-mail eikou@thela.ocn.ne.jp



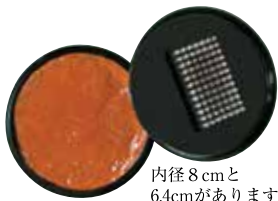
—いつも綺麗な捺印を—

印鑑や篆刻の印面に朱肉や紙粉が詰まり、捺印しても印影が綺麗に写らない場合があります。

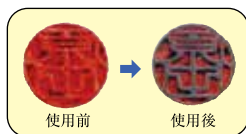
そんな時、この“朱おとし”をご使用ください。

印面を傷付けず汚れを取り、綺麗に捺印することができます。

ゴム印のゴミでも綺麗に落とせます。



内径8cmと
6.4cmがあります



名古屋市西区名駅二丁目3番17号

名豊工業株式会社

代表取締役 原田 直輝 (D41)

電話&FAX 052-541-6919

(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

33年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってください

会員サポート費 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥189,000 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥330,750 etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
<http://www.bridal-vip.co.jp>
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

広報委員会

委員長 樋口 真弘 (W61)
幹事 山本 勝宏 (ZW⑥)

秀島 栄三 山口 啓 (C49)
北川 啓介 (A⑧) 安楽 崇広 (M⑨)
小坂 卓 (EJ⑥) 廣瀬 光利 (E50)
朝倉 睦美 (W54) 野中 久義 (D⑨)
本多 沢雄 (ZY⑥) 道家 清正 (Y30)
平野 春好 (K50) 米谷 昭彦 (F60)
杉江 紘 (F院44) 横山 淳一 (Fb⑥)
三田 晴伸

特許業務法人 英知国際特許事務所

EICHI Patent & Trademark Corp.

所長 弁理士 岩崎 孝治

—— 知財の総合コンサルタント ——

東京本部 〒112-0011 東京都文京区千石 4-45-13
TEL:03-3946-0531(代) FAX:03-3946-4340
神奈川支部 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東 1-23-2
TEL:045-532-3827 FAX:045-532-3828
北海道支部 〒078-8802 北海道旭川市緑が丘東二条 4-11-12
TEL:0166-65-2080 FAX:0166-65-2080
浜松支部 〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町 5-11
TEL:053-461-5662 FAX:053-460-6027

<http://www.eichi-patent.jp>

会誌「ごきそ」のバックナンバーは、名古屋工業会のホームページ
<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>でご覧いただけます。